

出水時における危険箇所等の情報提供について

庄内川河川事務所では、災害対策基本法第 61 条の 2 に基づき、避難勧告等の判断の手助け(助言)となるように、次のとおり情報提供することとしています。

①危険箇所(越水)の情報を収集し、関係市町村長に提供

☞避難判断水位：現行基準では、「避難準備・高齢者等避難開始」の発表判断の目安

☞氾濫危険水位：現況基準では、「避難勧告」等の発令判断の目安

●出水時における危険水位(越水)の情報提供

危険箇所(越水) 27カ所
氾濫危険箇所 6カ所(27カ所の内数)

河川	基準観測所の諸元			危険箇所(越水)の状況		
	基準観測所	観測所位置(km)	受持区間	KP(km)	左右岸	地先名
庄内川	枇杷島	15.7	-2.0 ~ 18.0	14.4	右	清須市西枇杷島町南間屋町
庄内川	枇杷島	15.7	-2.0 ~ 18.0	17.4	左	名古屋市西区名塚町
庄内川	枇杷島	15.7	-2.0 ~ 18.0	12.2	右	清須市下川原
庄内川	枇杷島	15.7	-2.0 ~ 18.0	8.9	右	名古屋市中村区富田町万場
庄内川	枇杷島	15.7	-2.0 ~ 18.0	12.2	左	名古屋市中村区日比津町
庄内川	枇杷島	15.7	-2.0 ~ 18.0	6.9	左	名古屋市中川区本前田
庄内川	枇杷島	15.7	-2.0 ~ 18.0	5.0	右	名古屋市中川区大蟠郷
庄内川	志段味	32.7	18.0 ~ 43.2	22.0	右	名古屋市北区東味鏡
庄内川	志段味	32.7	18.0 ~ 43.2	22.2	左	名古屋市守山区瀬古
庄内川	志段味	32.7	18.0 ~ 43.2	22.8	右	春日井市御幸町
庄内川	志段味	32.7	18.0 ~ 43.2	19.0	右	名古屋市北区山田町
庄内川	志段味	32.7	18.0 ~ 43.2	28.4	左	名古屋市守山区吉根
庄内川	志段味	32.7	18.0 ~ 43.2	29.2	右	春日井市上条町
庄内川	志段味	32.7	18.0 ~ 43.2	23.8	左	名古屋市守山区西川原町
庄内川	志段味	32.7	18.0 ~ 43.2	28.4	右	春日井市上条町
庄内川	志段味	32.7	18.0 ~ 43.2	31.4	左	名古屋市守山区下志段味
庄内川	志段味	32.7	18.0 ~ 43.2	33.6	右	春日井市大留町
庄内川	多治見	49.0	43.2 ~ 53.5	49.0	右	多治見市豊岡町
庄内川	多治見	49.0	43.2 ~ 53.5	49.2	左	多治見市新町
庄内川	多治見	49.0	43.2 ~ 53.5	47.4	右	多治見市前畑町
庄内川	多治見	49.0	43.2 ~ 53.5	48.4	左	多治見市平和町
庄内川	土岐	57.8	53.5 ~ 59.7	59.0	右	土岐市泉町河合
庄内川	土岐	57.8	53.5 ~ 59.7	58.6	左	土岐市肥田浅野双葉町
矢田川	瀬古	3.6	0.0 ~ 7.1	6.6	右	名古屋市守山区町南
矢田川	瀬古	3.6	0.0 ~ 7.1	4.2	右	名古屋市守山区瀬古
矢田川	瀬古	3.6	0.0 ~ 7.1	4.2	左	名古屋市北区上飯田北町
矢田川	瀬古	3.6	0.0 ~ 7.1	6.8	左	名古屋市東区大幸

赤字：氾濫危険箇所

※危険箇所(越水)は、氾濫ブロック(行政区境界も考慮)ごとに、直ちに越水が始まる水位が最も低い箇所を1箇所設定。

※氾濫危険箇所は、5つの基準観測所の各受持区間内の危険箇所から、最も早く避難を開始する必要がある1箇所を設定。

②重点監視区間（浸透や侵食の監視が必要な区間）の情報を収集し、関係市町村長に提供

☞異常な漏水が発見された場合：「避難勧告」等の発令判断の目安

- 出水時における危険水位（侵食・浸透）の情報提供
- ・重点監視区間（浸透） 6カ所

河川	左右岸	区間
庄内川	左岸	14. 0k+ 80m ~ 14. 2k+ 20m
庄内川	左岸	14. 6k-120m ~ 14. 6k- 50m
庄内川	右岸	21. 8k+125m ~ 21. 8k+195m
庄内川	左岸	22. 0k ~ 22. 4k+100m
庄内川	左岸	22. 6k+ 40m ~ 22. 8k+ 10m
庄内川	右岸	23. 8k- 30m ~ 23. 8k+ 60m

※重点監視区間（浸透）は、重要水防箇所の種別「基礎地盤漏水」及び「堤体漏水」の重要度 A 区間を設定

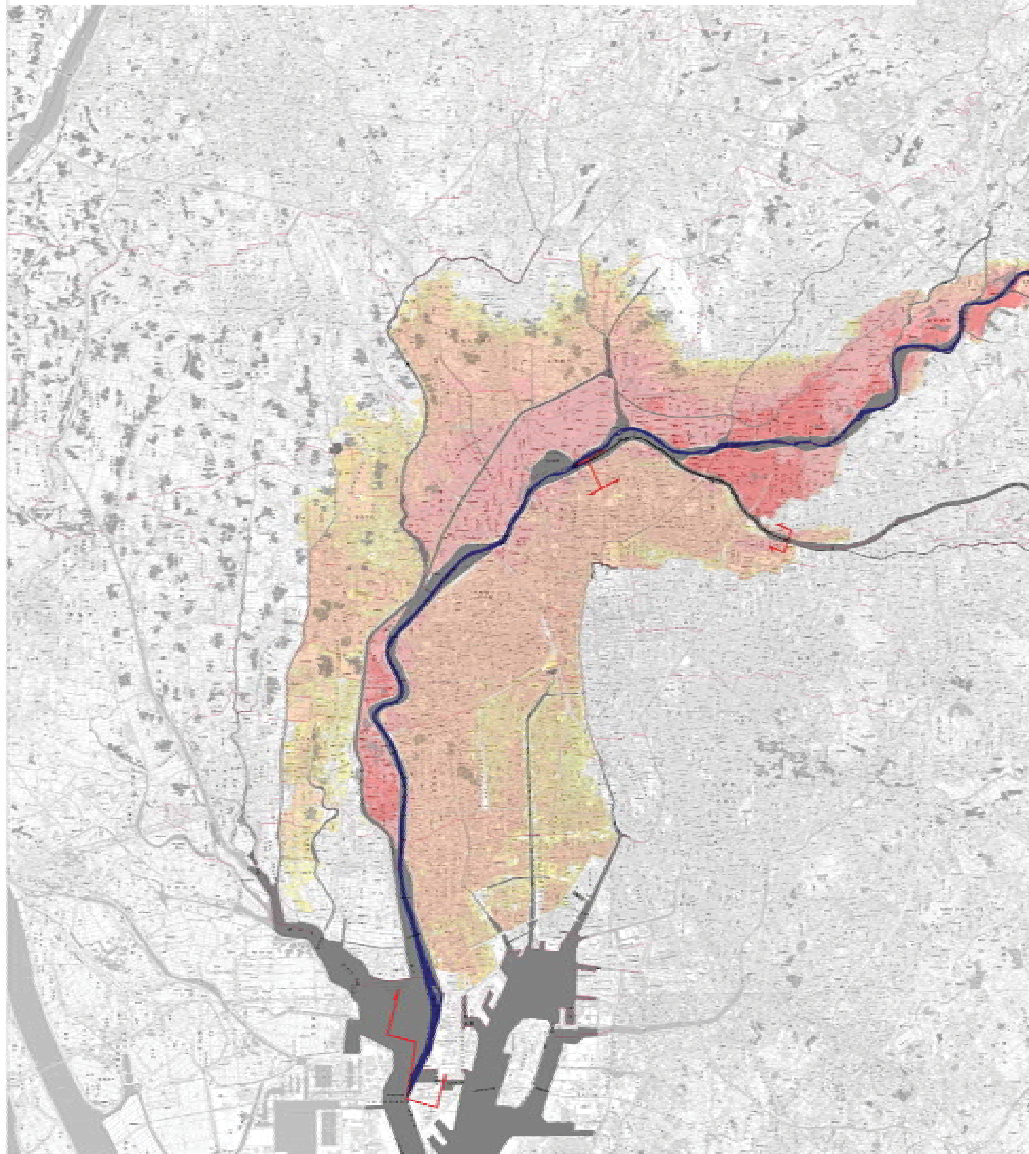
情報提供等の連絡窓口一覧＜重点監視区間（浸透・侵食）などの情報提供窓口＞

自治体名称	連絡窓口	電話番号	F A X 番号	備 考
名古屋市	防災危機管理局 危機対策室	052-972-3522	052-962-4030	
瀬戸市	防災課	0561-88-2600	0561-21-6607	
春日井市	災害対策本部 （河川排水課）	0568-85-6361	0568-83-9988	
清須市	防災行政課	052-400-2911 052-400-2912	052-400-2963	
あま市	安全安心課	052-444-0862	052-441-8330	
大治町	防災危機管理課	052-444-2711	052-443-4468	
海部地区水防 事務組合	事務局長	0567-26-3962	0567-25-6030	
愛知県庁	河川課	052-954-6552	052-953-1457	
尾張建設事務所	維持管理課	052-961-4421	052-961-7879	
尾張県民事務所	防災保安課	052-973-4595 052-916-1474	052-973-4596 052-951-9106	本部設置時 平常時
海部建設事務所	維持管理課	0567-24-2111	0567-24-2147	
海部県民センター	県民安全防災課	0567-24-2125	0567-26-0729	
多治見市	企画防災課	0572-22-1111	0572-24-0621	
土岐市	総務課	0572-54-1111	0572-53-0020	
岐阜県庁	河川課	058-272-8585	058-278-2753	
多治見土木事務所	施設管理課	0572-23-1111	0572-25-7224	

＜参考＞ 各市町の避難勧告等の発令基準一覧表＜危険箇所（越水）によるもの＞

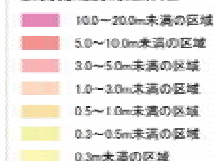
自治体名称	避難勧告の発令基準	避難準備・高齢者等避難開始
名古屋市	志段味 5.9m、枇杷島 8.5m、瀬古 5.0m	志段味 5.65m、枇杷島 8.3m、瀬古 4.75m
瀬戸市	氾濫危険水位（志段味）	避難判断水位（志段味）
春日井市	氾濫危険水位（志段味）	避難判断水位（志段味）
清須市	避難判断水位（枇杷島）	出動水位（枇杷島）
あま市	避難判断水位（志段味、枇杷島）	氾濫注意水位（志段味、枇杷島）
大治町	避難判断水位（枇杷島）	氾濫注意水位（枇杷島）
多治見市	氾濫危険水位（多治見）	避難判断水位（多治見）
土岐市	氾濫危険水位（土岐）	避難判断水位（土岐）

庄内川水系庄内川・矢田川 洪水浸水想定区域図
(想定最大規模)



凡例

過剰した場合には指定された基本属性ランク制



—— 市区町境界

圖 1-1-1 鋼筋的種類及規格

庄内川河川事務所ホームページの防災情報より確認できます

表-1 濃縮施設から浸水する地下空間

[illegible]

市二の森に属する地下排水は、庄内川水系庄内川及び矢野川の水系と密接関係について、その排水の構造により推察された排水構造等調査区域内に於ける地質構造等を通じて推察する排水が関連する等と想定されるものです。推定される庄内川及び矢野川の水通及び排水調整施設の整備状況等を踏まえ、想定し得る最大規模の降雨に伴う排水により庄内川、矢野川に発生する場合は河川の排水をシミュレーションにより予測したものです。

1. 既:

(1) この図は、内河川系内河川・支那川の洪水干渉範囲について、水防法の規定により指定された管轄し得る最大規模の洪水による洪水浸水想定区域、浸水した場合は想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域図は、指定地点の内河川・支那川の河道及び洪水調節施設の整備状況を踏まえて、想定し得る最大規模の洪水に準ずる洪水により内河川・支那川が氾濫した場合の洪水の状況を示すシミュレーションにより作成したものです。

(13) なお、このシミュレーションの前提にあたっては、実際の「決壊による」氾濫、シミュレーションの前提となる氾濫を招く堤防の決壊による氾濫、暴風雨や内波による氾濫等を考慮していませんので、この決壊洪水氾濫区域に限定されておらず、氾濫していない区域においても洪水が発生する場合や、氾濫がある水深が実際の洪水より浅い場合が考えられます。

[illegible]

(12) 治安部函復 電和字02月6日
(13) 治安部函 國立交通部中部地方警備局各不區函
(14) 陸軍部函復 陸部函(即第24年度預算第20号) 第14條第1項

【注】別表に示す水質基準値は、
・日本川流水基準（環境省）
・地表水環境品質指標（環境省）に基づき算出されたものである。

● 日本河川水質改善計画（環境省）
● 日本河川水質改善計画（国土交通省）
● 日本河川水質改善計画（経済産業省）
● 日本河川水質改善計画（文部科学省）
● 日本河川水質改善計画（厚生労働省）
● 日本河川水質改善計画（農林水産省）
● 日本河川水質改善計画（国土交通省）
● 日本河川水質改善計画（経済産業省）
● 日本河川水質改善計画（文部科学省）
● 日本河川水質改善計画（厚生労働省）
● 日本河川水質改善計画（農林水産省）

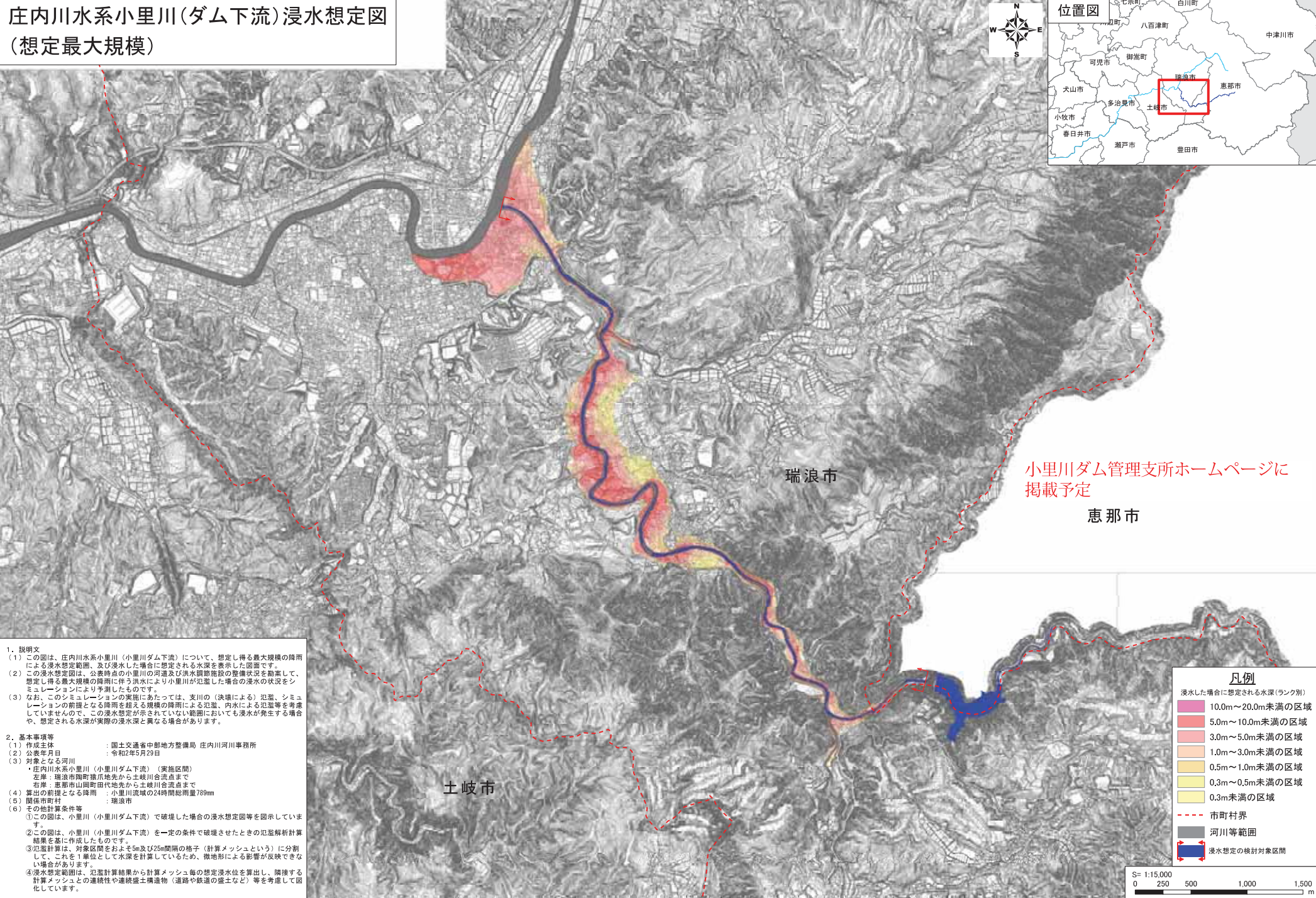
(5) 製品の寸法と公差範囲

(18) その他計画条件等

この調査は、在日韓・在日朝鮮の漁民が主要な漁獲した種目の海水魚の漁獲量と漁獲方法を調査しています。この調査は、在日韓・在日朝鮮の漁民が主要な漁獲した種目の海水魚の漁獲量と漁獲方法を調査しています。

[illegible]

庄内川水系小里川(ダム下流)浸水想定図
(想定最大規模)



洪水予報区間の分割について

現状

庄内川と矢田川を
同一予報区間として発表



R2出水期～

庄内川と矢田川を分割して
それぞれ発表

発表区	第1発表区	第2発表区	第3発表区
国土交通省 庄内川河川事務所 気象庁 名古屋地方気象台	機関名	機関名	機関名

正誤

庄内川氾濫警戒情報

庄内川洪水予報第〇号
洪 水 警 報
令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
庄内川河川事務所・名古屋地方気象台 共同発表

(見出し)

【警戒レベル3相当情報【洪水】】庄内川では、避難判断水位に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込み

(主 文)

【警戒レベル3相当】矢田川の瀬古水位観測所（愛知県名古屋市）では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、避難準備・高齢者等避難開始等の発令の目安となる「避難判断水位」に到達しました。今後、水位はさらに上昇する見込みです。市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとって下さい。

発表区	第1発表区	第2発表区	第3発表区
国土交通省 庄内川河川事務所 気象庁 名古屋地方気象台	機関名	機関名	機関名

正誤

矢田川氾濫警戒情報

庄内川洪水予報第〇号
洪 水 警 報
令和〇〇年〇月〇日〇時〇〇分
庄内川河川事務所・名古屋地方気象台 共同発表

(見出し)

【警戒レベル3相当情報【洪水】】矢田川では、避難判断水位に到達し、今後、水位はさらに上昇する見込み

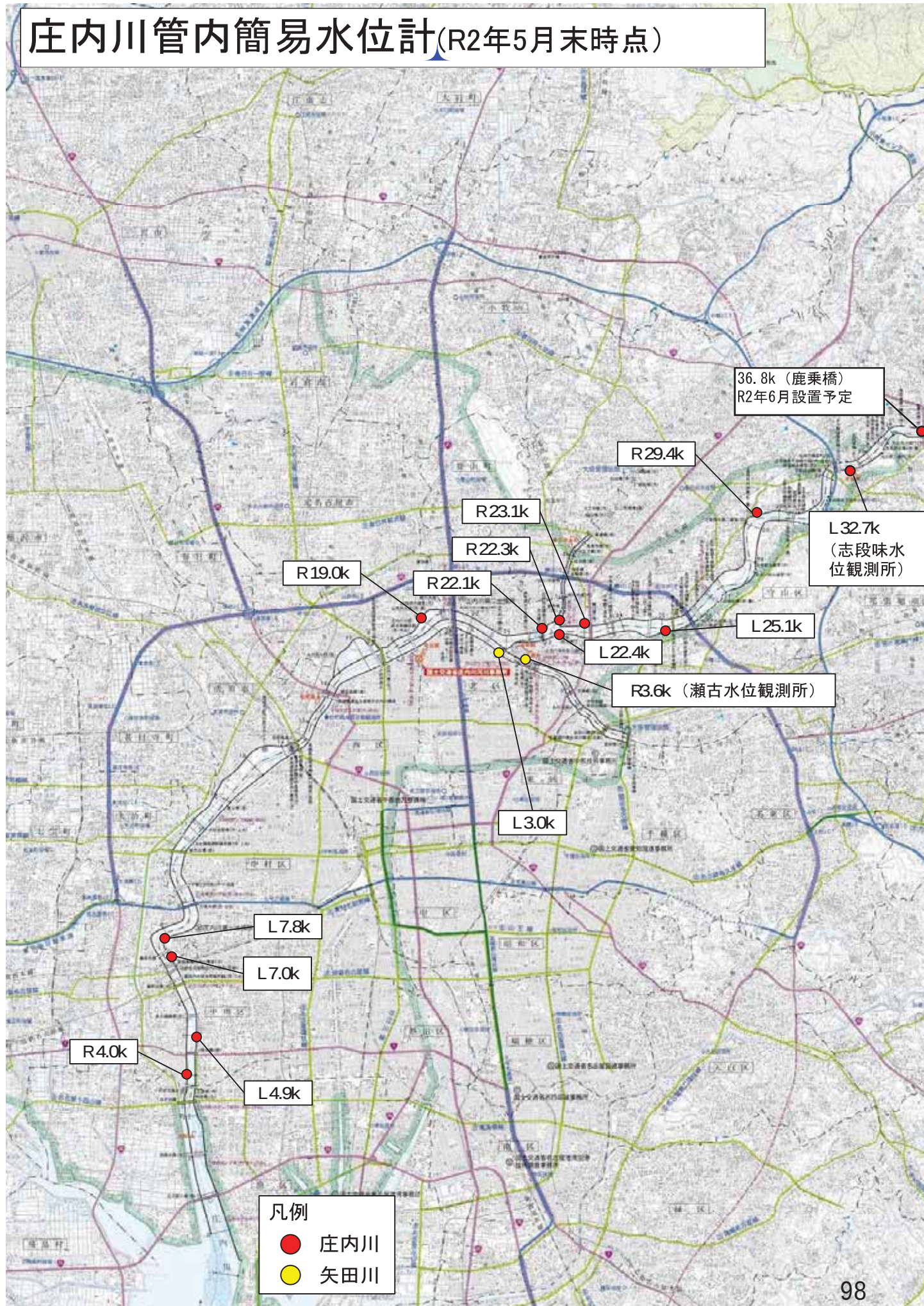
(主 文)

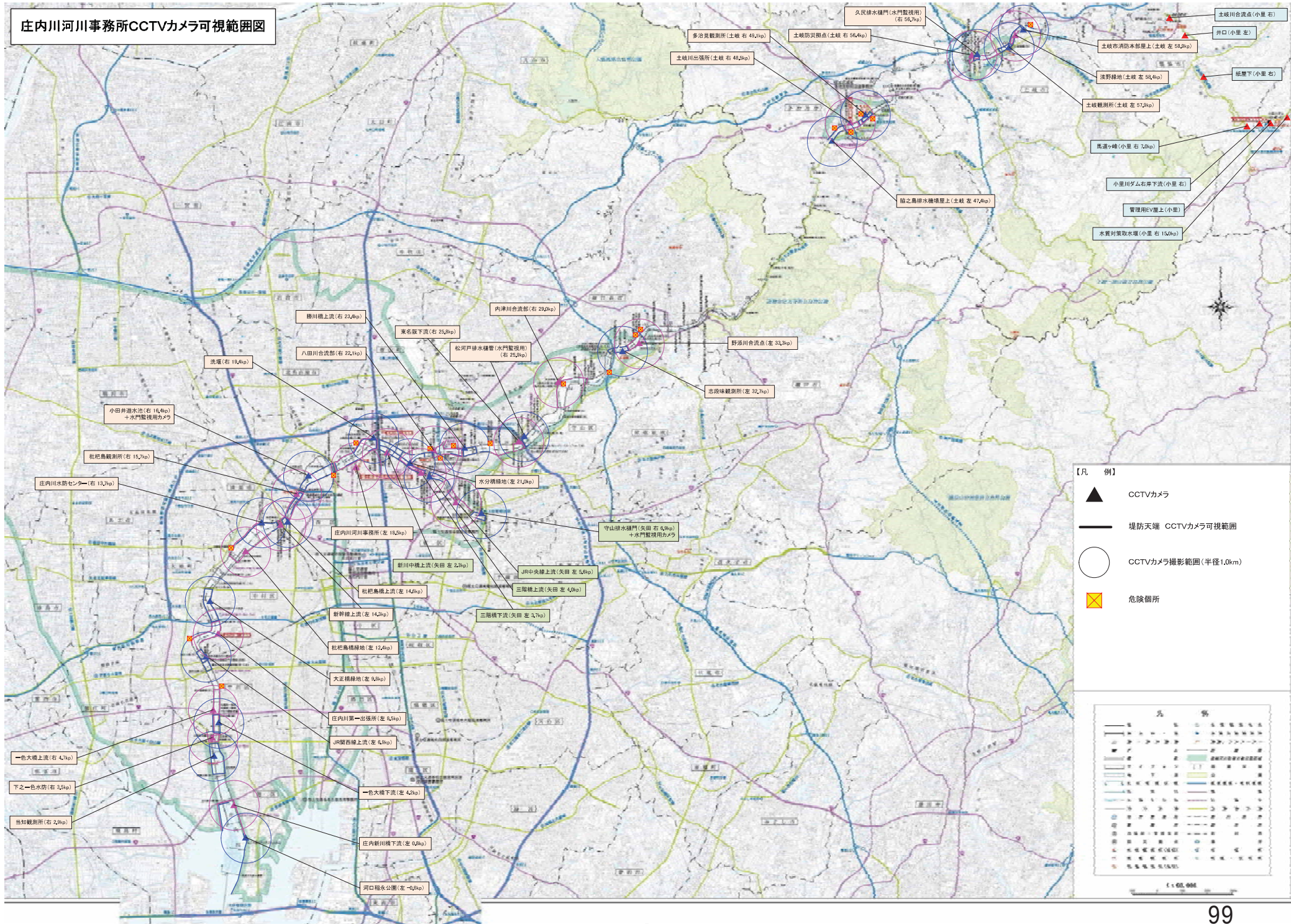
【警戒レベル3相当】矢田川の瀬古水位観測所（愛知県名古屋市）では、〇〇日〇〇時〇〇分頃に、避難準備・高齢者等避難開始等の発令の目安となる「避難判断水位」に到達しました。今後、水位はさらに上昇する見込みです。市町村からの避難情報に十分注意するとともに、適切な防災行動をとって下さい。

位置図

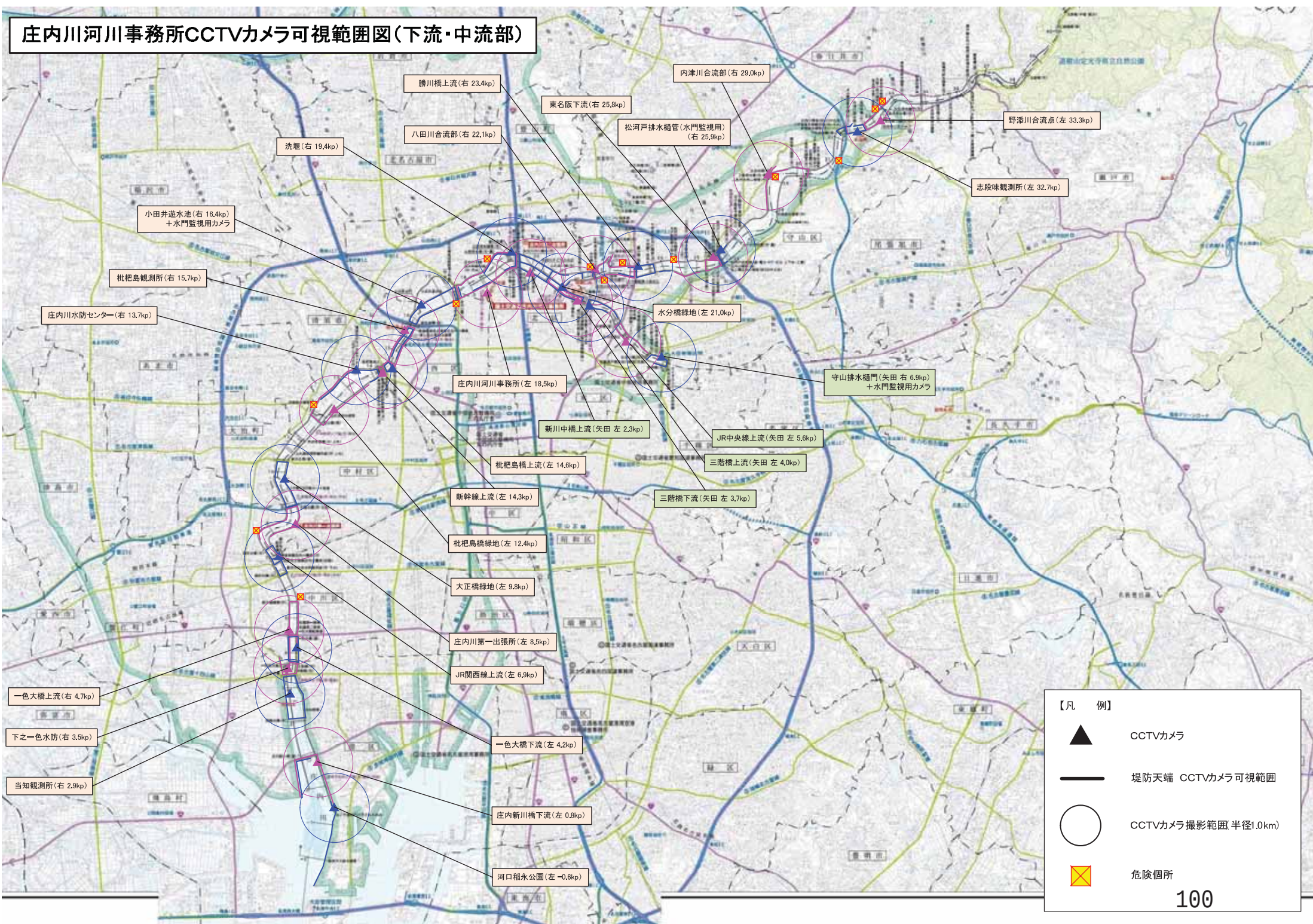


庄内川管内簡易水位計(R2年5月末時点)

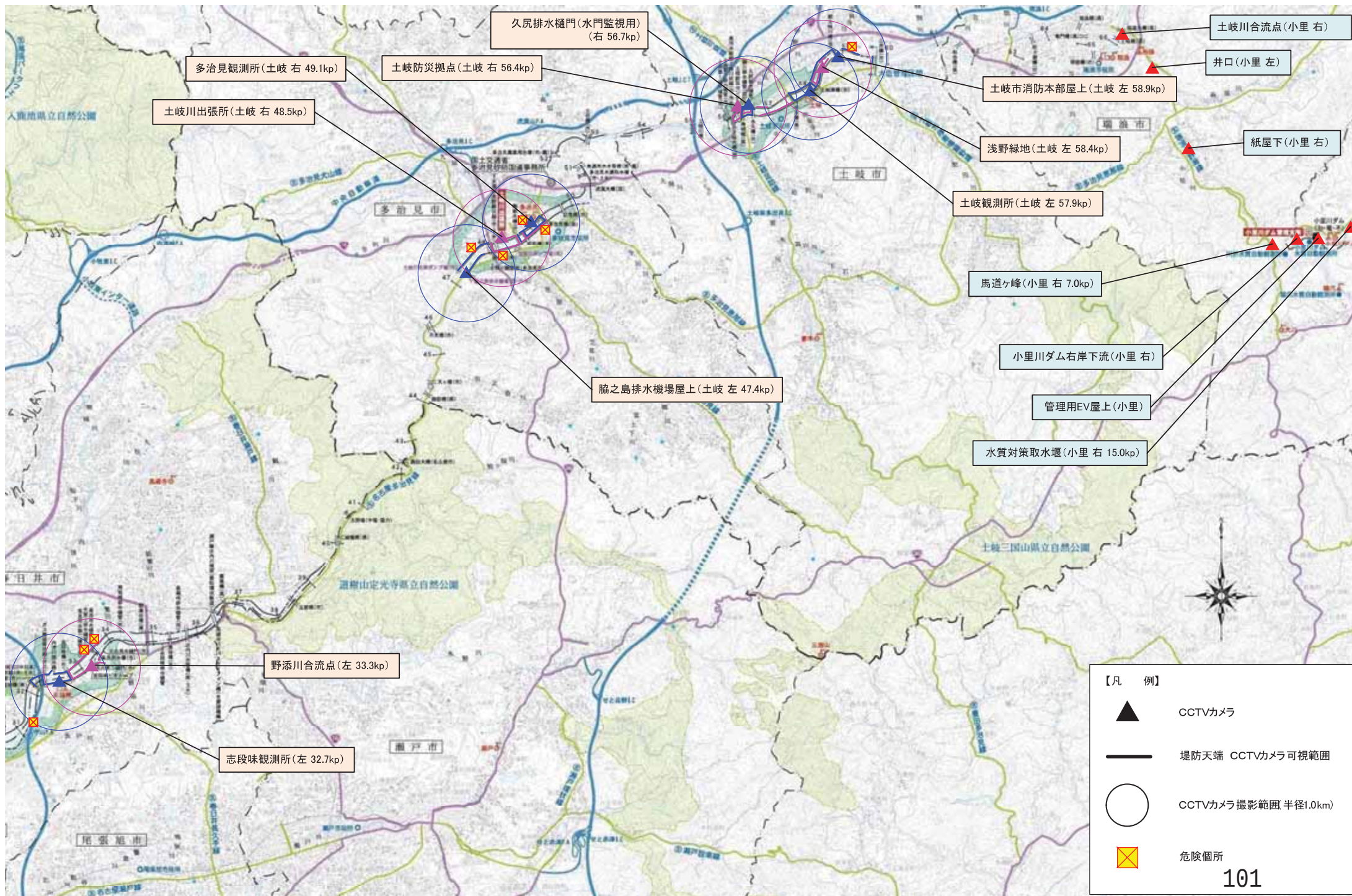




庄内川河川事務所CCTVカメラ可視範囲図(下流・中流部)



庄内川河川事務所CCTVカメラ可視範囲図(上流部)



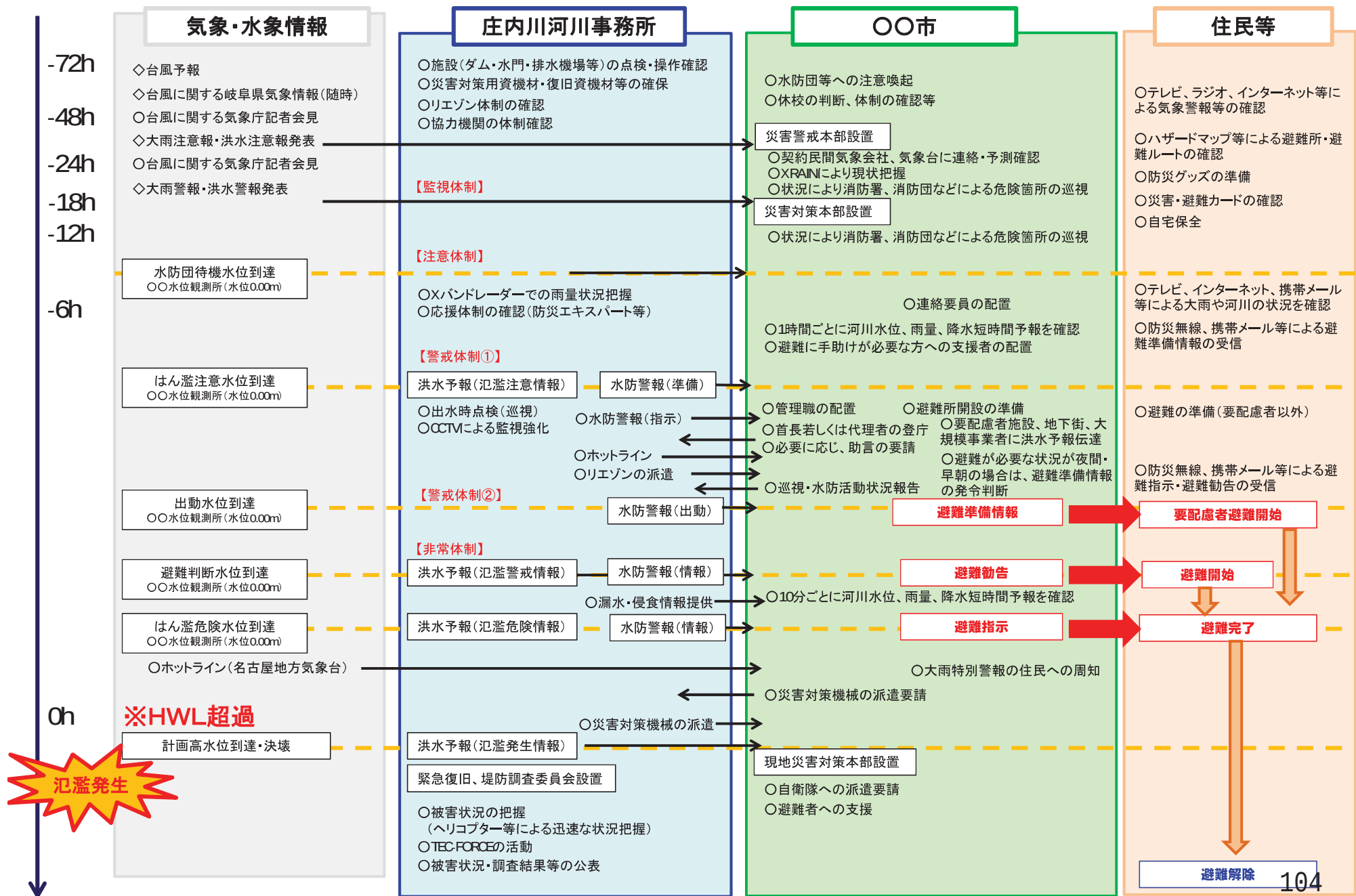
庄内川河川事務所 CCTV一覧(H30.9現在)

	施設名称	機種	設置場所	緯度			経度			河川名	右岸／左岸	KP
1	河口稻永公園	3板	名古屋市港区野跡5	35	4	44.84	136	50	56.76	庄内川	左	-0.6
2	庄内新川橋下流	単板HD	名古屋市港区宝神5	35	5	29	136	50	39	庄内川	左	0.8
3	当知観測所	単板HD	名古屋市港区福田茶屋新田	35	6	33	136	50	8.86	庄内川	右	2.9
4	下之一色水防	単板HD	名古屋市市中川区下之一色町繰出地先	35	6	58	136	50	9	庄内川	右	3.5
5	一色大橋下流	3板	名古屋市市中川区下之一色町松蔭	35	7	16.5	136	50	19.1	庄内川	左	4.2
6	一色大橋上流	3板	名古屋市市中川区下之一色町宮分	35	7	34	136	50	10	庄内川	右	4.7
7	JR関西線上流	3板	名古屋市中村区横井	35	8	42	136	49	58	庄内川	左	6.9
8	第一出張所	単板HD	名古屋市中村区岩塚町西起	35	9	5.44	136	50	14.16	庄内川	左	8.5
9	大正橋緑地	単板HD	名古屋市中村区稲葉地町	35	9	55	136	50	8	庄内川	左	9.8
10	枇杷島橋緑地	単板HD	名古屋市中村区日比津町	35	10	54	136	51	6	庄内川	左	12.4
11	庄内川水防センター	3板	清須市北枇杷池	35	11	32.09	136	51	32.22	庄内川	右	13.7
12	新幹線上流	3板	名古屋市西区枇杷島町	35	11	28.38	136	52	2.19	庄内川	左	14.3
13	枇杷島橋上流	単板HD	名古屋市西区枇杷島町	35	11	31.6	136	52	10.47	庄内川	左	14.6
14	枇杷島観測所	3板	清須市	35	12	9.14	136	52	30.25	庄内川	右	15.7
15	小田井遊水地	単板HD	名古屋市西区山田町中小田井	35	12	30.04	136	52	44.72	庄内川	右	16.4
16	小田井水門(水門監視用)	簡易HD	名古屋市西区山田町中小田井	35	12	30.04	136	52	44.72	庄内川	右	16.4
17	庄内川河川事務所	簡易HD	名古屋市北区福德町	35	12	46.59	136	54	3.28	庄内川	左	18.5
18	洗堰	3板	名古屋市北区楠町味鏡	35	13	18	136	54	29	庄内川	右	19.4
19	水分橋緑地	3板	名古屋市北区	35	12	45.27	136	55	25.74	庄内川	左	21.0
20	八田川合流点	3板	名古屋市北区東味鏡3	35	13	0.63	136	56	6.41	庄内川	右	22.1
21	勝川橋上流	3板	春日井市勝川町	35	13	3.96	136	56	56.49	庄内川	右	23.4
22	東名阪下流(庄内川橋梁、松川橋)	3板	春日井市松河戸町	35	13	9.48	136	58	21.58	庄内川	右	25.8
23	松河戸排水樋門(水門監視用)	簡易HD	春日井市松河戸町	35	13	13.68	136	58	26.89	庄内川	右	25.9
24	内津川合流部	3板	春日井市上条町5	35	14	23.78	136	59	21.81	庄内川	右	29.0
25	志段味観測所	3板	名古屋市守山区中志段味字舟場	35	15	4.88	137	1	4.76	庄内川	左	32.7
26	野添川合流点	3板	名古屋市守山区下志段味太白	35	15	14.16	137	1	29.33	庄内川	左	33.3
27	脇之島排水機場屋上	3板	多治見市平和町	35	19	33.67	137	6	42.83	土岐川	左	47.4
28	土岐川出張所	3板	多治見市前畑町	35	19	54	137	7	18	土岐川	右	48.5
29	多治見観測所	3板	多治見市豊岡町2	35	20	3.03	137	7	37.22	土岐川	右	49.1
30	土岐防災拠点	単板HD	土岐市泉日之出町	35	21	14.87	137	10	26.68	土岐川	右	56.4
31	久尻排水樋門(水門監視用)	簡易HD	土岐市泉日之出町	35	21	16.69	137	10	34.04	土岐川	右	56.5
32	土岐観測所	3板	土岐市土岐津町高山	35	21	26.86	137	11	23.66	土岐川	左	57.9
33	浅野緑地	3板	土岐市肥田浅野双葉町	35	21	40.75	137	11	34.25	土岐川	左	58.4
34	土岐市消防本部屋上	3板	土岐市肥田浅野笠神町3丁目	35	21	49	137	11	48	土岐川	左	58.9
35	新川中橋上流	3板	名古屋市北区成願寺町	35	12	58.41	136	54	52.08	矢田川	左	2.1
36	三階橋下流	3板	名古屋市北区安井町	35	12	31.75	136	55	43.01	矢田川	左	3.7
37	三階橋上流	単板HD	名古屋市北区上飯田北町	35	12	28.96	136	55	51.13	矢田川	左	4.0
38	JR中央線上流	3板	名古屋市東区矢田2	35	11	54.45	136	56	37.45	矢田川	左	5.6
39	守山排水樋門	3板	名古屋市守山区	35	11	38.49	136	57	17.14	矢田川	右	6.8
40	守山排水樋門 監視(水門監視用)	簡易HD	名古屋市守山区	35	11	38.49	136	57	17.14	矢田川	右	6.9
41	管理用EV棟上部	巡回式3板HD(FV-1600)	恵那市山岡町田代地先	35	19	42.92	137	18	9.39	小里川ダム		
42	下流右岸	巡回式3板HD(NT-S374)	恵那市山岡町田代地先	35	19	44.29	137	18	1.27	小里川ダム		
43	馬道ヶ峰	巡回式単板(E37990A,MC5000?)	瑞浪市稲津町小里字馬道ヶ峰17-16	35	19	34.86	137	17	33.33	小里川ダム		
44	紙屋下	巡回式単板(E37990A,MC5000?)	瑞浪市稲津町小里字紙屋下265-1	35	20	41.22	137	16	31.49	小里川ダム		
45	井口	巡回式単板(E37990A,MC5000?)	瑞浪市土岐町字井口7976-6	35	21	39.31	137	16	0.05	小里川ダム		
46	土岐川合流点	巡回式3板HD(FV-1600)	瑞浪市土岐町字市原地先	35	22	1.86	137	15	37.45	小里川ダム		
47	水質対策取水堰	巡回式単板(MC5000)	恵那市山岡町田代地先	35	19	55.53	137	19	1.09	小里川ダム		
48	半島部	巡回式3板HD(NT-S374)	恵那市山岡町田代地先	35	19	40.4	137	18	19.66	小里川ダム		
49	左岸上流	巡回式単板(E37990A,MC5000?)	瑞浪市陶町水上地先	35	19	27.9	137	18	10.07	小里川ダム		
50	天端左岸	固定型単板(TC1993)	瑞浪市陶町水上地先	35	19	27.9	137	18	8.15	小里川ダム		
51	大坪川合流点	巡回式3板(MT3028)	恵那市山岡町下手向	35	20	13	137	20	52	小里川ダム		

水防水位情報発信時期

水位観測所	水防団待機水位	氾濫注意水位	出動水位	避難判断水位	氾濫危険水位	計画高水位
警戒レベル		警戒レベル 1 相当	警戒レベル 2 相当		警戒レベル 3 相当	警戒レベル 4 相当 *氾濫が発生した場合は L 5
枇杷島	4. 60m	5. 60m	6. 30m	8. 50m	8. 90m	9. 08m
志段味	3. 40m	4. 60m	5. 20m	5. 90m	6. 40m	7. 50m
多治見	2. 50m	3. 20m	3. 70m	5. 30m	5. 60m	6. 78m
土 岐	2. 40m	3. 00m	4. 00m	4. 50m	4. 70m	6. 39m
瀬 古	2. 80m	3. 30m	5. 00m	5. 20m	5. 50m	5. 71m
洪水予報			氾濫注意情報 (洪水注意報)		氾濫警戒情報 (洪水警報)	氾濫危険情報 (洪水警報)
		氾濫注意情報解除 (洪水注意報解除)	氾濫注意情報 (洪水注意報) (警報解除)			
水防警報			水防警報(準備)	水防警報(出動)		水防警報(情報)
		水防警報(解除)	水防警報(情報)		水防警報(情報)	

台風の接近・上陸に伴う洪水を対象とした、〇〇市【庄内川】の避難勧告の発令等に着目したタイムライン(防災行動計画)(案)



緊急速報メールによる配信対象市町村

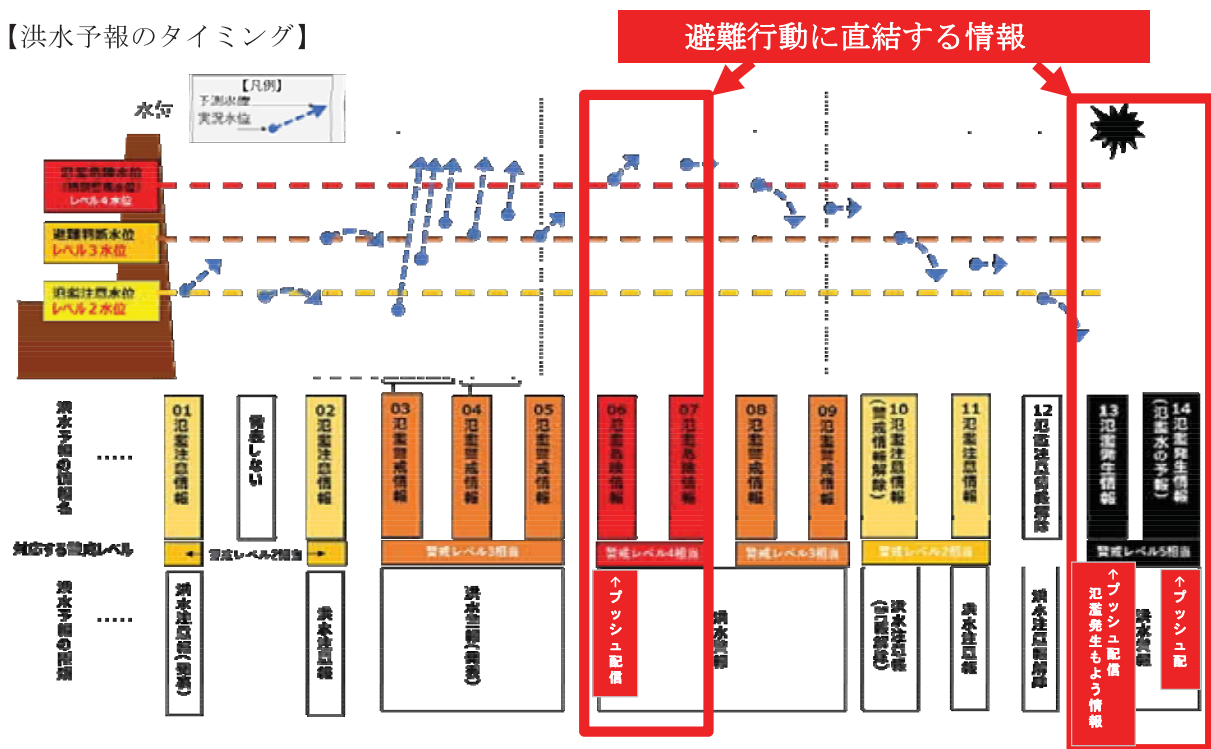
水系名	河川名	基準観測所名 (位置)	配信先
庄内川	庄内川	枇杷島 (愛知県清須市)	愛知県 名古屋市東区、北区、西区、中村区、中区、熱田区、中川区、港区、清須市、北名古屋市、あま市、大治町、蟹江町、一宮市、稲沢市
庄内川	庄内川	志段味 (愛知県名古屋市)	愛知県 名古屋市北区、西区、守山区、瀬戸市、小牧市、春日井市、豊山町、清須市、北名古屋市、あま市
庄内川	土岐川	多治見 (岐阜県多治見市)	岐阜県 多治見市
庄内川	土岐川	土岐 (岐阜県土岐市)	岐阜県 土岐市、多治見市
庄内川	矢田川	瀬古 (愛知県名古屋市)	愛知県 名古屋市東区、北区、西区、中村区、中区、熱田区、中川区、港区、守山区、千種区

河川の洪水予警報発令タイミング

【基準水位】

レベル	水 位	基準水位観測所における水位の意味 (危険な箇所を設定した以下の水位を、水位観測所地点の水位に置き換えて設定)
5	氾濫発生	
4	氾濫危険水位 (特別警戒水位)	・市町村長の避難勧告等の発令判断の目安 ・住民の避難判断の参考になる水位 水位設定の考え方: 計画高水位若しくは、避難のリードタイムから設定される水位のいずれか低い水位
3	避難判断水位	・市町村長の避難準備・高齢者等避難開始等の発令判断の目安 ・災害時要配慮者の早期避難の目安 ・住民の氾濫に関する情報への注意喚起
2	出動水位 氾濫注意水位 (警戒水位)	・水防団の出動の目安 ・水防団の準備の目安
1	水防団待機水位	

【洪水予報のタイミング】



- ・自治体への確実な伝達も含め、避難行動に直結する氾濫危険情報（氾濫危険水位到達）、氾濫発生情報（越水、溢水、決壊）の配信、プッシュ配信（緊急速報メール配信等）は確実に実施すること。
- ・氾濫発生「もよう」情報※の発信について
住民からの連絡やSNS等により決壊・越水の発生情報を入手した場合で、監視カメラ・水位計を設置しておらず（故障も含む）現地確認ができず、更に水防団等による直接的な現地確認もできない場合においても、近傍の監視カメラ・水位計等による流況（急激な水位低下等）から、決壊・越水の可能性を認めた場合は、「氾濫が発生したもよう」情報を発信

1 2019年1月～12月の気象概況

1-1 東海地方の天候の特徴

平均気温

7月に梅雨前線の影響で平年より低くなりましたが、その他は暖かい空気に覆われやすく「かなり高い」か「高い」となった月が多くなりました。このため、年平均気温（平年差+1.1℃）は1946年の統計開始以降で最も高くなりました。

降水量

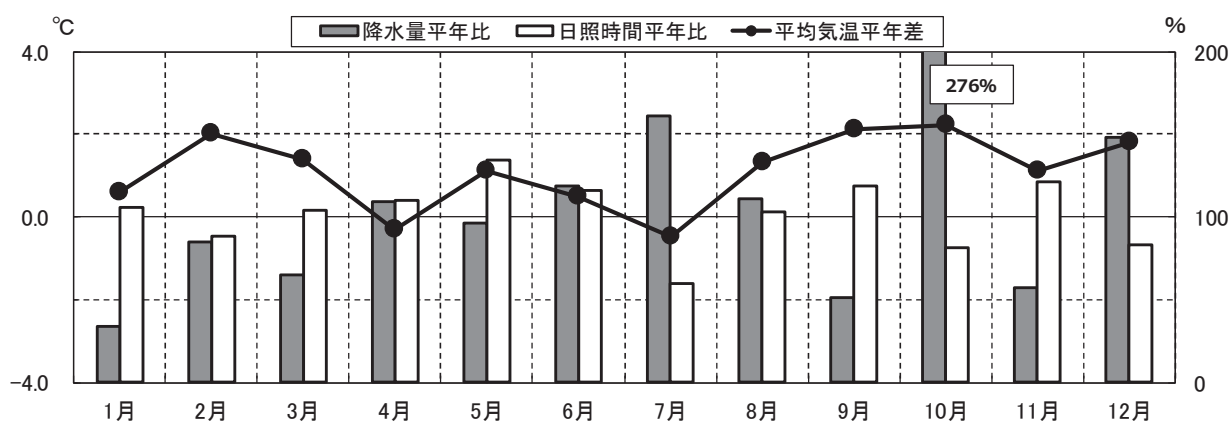
1月と3月、及び9月と11月は「少ない」か「かなり少ない」となりましたが、6月から8月にかけては梅雨前線や台風などの影響で多くなり、10月は台風や低気圧及び前線の影響で「かなり多い」となりました。このため、年降水量は「多い」となりました。

日照時間

春（3月から5月）と秋（9月から11月）は高気圧に覆われて晴れた日が多く、「かなり多い」または「多い」となりましたが、夏（6月から8月）は梅雨前線や湿った空気の影響で「少ない」となりました。このため、年間日照時間は「平年並」となりました。

※平均気温、降水量、日照時間については、東海地方平均の特徴を記述しました。東海地方平均とは、東海地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（14地点）の平年差・比を平均したものです。

東海地方平均の月平均気温・月降水量・月間日照時間の推移



1-2 月別の東海地方の天候

1月

上旬は冬型の気圧配置の続いた時期がありました。その後は日本付近を数日の周期で気圧の谷が通過しましたが、中旬は大陸の高気圧に覆われやすく、下旬は気圧の谷の通過後は冬型の気圧配置となりました。このため平野部では晴れた日が多く、岐阜県山間部は曇りや雪の日が多くなりました。また、下旬には強い寒気が南下し、三重県北中部など平野部の一部で大雪の降った日がありました。

2月

低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。低気圧や前線の影響で、この時期としては曇りや雨の日が多くなりました。また、暖かい空気に覆われやすく、気温の高い日が多くなりました。岐阜県山間部では、寒気の影響を受けにくく、月降雪量はかなり少なくなりました。

3 月

低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。上旬は低気圧や前線の影響を受けやすかったものの、中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

4 月

高気圧と低気圧が交互に通過して天気は数日の周期で変わりましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。30 日は低気圧が日本の南岸を通過した影響で大雨となった所がありました。また、しばしば寒気の南下した時期がありましたが、暖かい空気に覆われた時期もあり、寒暖の変動が大きくなりました。

5 月

天気は数日の周期で変わりましたが、高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。一方、前線の通過や上空の寒気の影響で広い範囲で大雨となった日もありました。

6 月

本州付近を気圧の谷がたびたび通過したため天気は周期的に変化しましたが、太平洋高気圧の北への張り出しが弱く、梅雨前線の影響を受けにくかったため、月間日照時間は多くなりました。また、低気圧の通過や前線の影響で大雨となった所があり、月降水量は多くなりました。

7 月

日本付近に梅雨前線が停滞しやすく、曇りや雨の日が多くなり、梅雨前線の活動が活発となって大雨となった日もありました。ぐずついた天気が続いたため、日照時間はかなり少なく、オホーツク海高気圧から冷たい空気が流れ込んだ影響もあって、月の中頃は気温の低い日が続きました。

8 月

上旬から中旬は太平洋高気圧が本州付近に張り出したため晴れた日が多く、猛暑日の続いた所が多くなりました。ただし、午後は大気の状態が不安定となり、所々で大雨となった日がありました。また 15 日から 16 日は台風第 10 号の影響で大荒れの天気となり、広い範囲で大雨となりました。下旬は、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

9 月

高気圧と低気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わりました。高気圧に覆われて南からの暖かい空気が入りやすかったため気温が高く、厳しい残暑となった時期もありました。

10 月

台風や低気圧及び前線の影響で曇りや雨の日が多く、大雨となった日もありました。12 日は台風第 19 号が伊豆半島に上陸し、静岡県では初めて大雨特別警報を発表するなど、東海地方では記録的な大雨となった所がありました。

11 月

天気は数日の周期で変わり、前線や湿った空気の影響で曇りや雨となった時期もありましたが、移動性高気圧に覆われやすかったため晴れた日が多くなりました。

12 月

上旬に冬型の気圧配置の続いた時期がありましたが、その後は冬型の気圧配置となっても長続きせず、日本付近を低気圧や前線がしばしば通過しました。このため天気が数日の周期で変わり、この時期としては曇りや雨の日が多くなりました。

1-3 梅雨

梅雨入り： 6月 7日ごろ 「平年並」 （平年： 6月 8日ごろ）

梅雨明け： 7月 24日ごろ 「遅い」 （平年： 7月 21日ごろ）

6月上旬は梅雨前線が日本の南海上から南岸付近に停滞し、東海地方は6月7日ごろに梅雨入りしました。その後、6月中旬の前半にかけて曇りや雨の日が多くなりましたが、6月中旬の後半は高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。6月下旬から7月下旬のはじめにかけては、本州付近に梅雨前線が停滞して曇りや雨の日が多くなり、梅雨前線の活動がたびたび活発となり大雨となった所がありました。7月下旬の中頃から太平洋高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、東海地方は7月24日ごろに梅雨明けしました。

梅雨の時期（6～7月）の降水量の平年比の東海地方平均は138%で「かなり多い」となりました。

梅雨の時期（6月～7月）の各地の
降水量(mm)とその平年比(%)

地点名	降水量 (mm)		平年比(%)
	2019年	平年値	
高山	588.5	403.0	146
岐阜	612.5	506.9	121
名古屋	455.5	404.5	113
上野	406.5	385.9	105
津	533.5	380.7	140
伊良湖	422.0	338.2	125
浜松	721.5	431.3	167
御前崎	912.0	473.8	192
静岡	589.5	570.4	103
三島	439.5	440.2	100
尾鷲	1290.5	802.9	161
石廊崎	911.0	428.2	213
網代	558.0	489.8	114
四日市	607.5	466.8	130
東海地方平均			138

※「高い（多い）」・「平年並」・「低い（少ない）」の範囲は、平年値の統計期間（1981-2010年）の値から求めています。30年間のデータ（たとえば1月の月平均気温であれば1981年1月、1982年1月、～、2010年1月の30個）の中で、高い（多い）方からおおよそ10番目までのデータの値の範囲を「高い（多い）」、11～20番目まで値の範囲を「平年並」、21番目以降の値の範囲を「低い（少ない）」としています。また、高い（多い）方から3番目までの値の範囲を「かなり高い（多い）」、28番目の値以降の範囲を「かなり低い（少ない）」としています。梅雨の時期の「早い」や「遅い」の範囲もこれに準じています。

1 - 4 台風

台風の発生数は 29 個で平年を上回りました。特に 11 月の発生数は平年の 2 倍を超えました。台風の上陸数は 5 個（台風第 6、8、10、15、19 号）、東海地方に接近した台風は 5 個（台風第 3、6、10、15、19 号）で、ともに平年を上回りました。7 月 26 日から 27 日にかけては台風第 6 号の影響で、8 月 14 日から 16 日にかけては台風第 10 号の影響で大雨となりました。また、9 月 8 日に関東地方に上陸した台風第 15 号の影響で、静岡県では猛烈な雨や暴風となりました。さらに 10 月 12 日は、台風第 19 号が大型で強い勢力で伊豆半島に上陸し、静岡県では初めて大雨特別警報を発表するなど記録的な大雨となった所がありました。

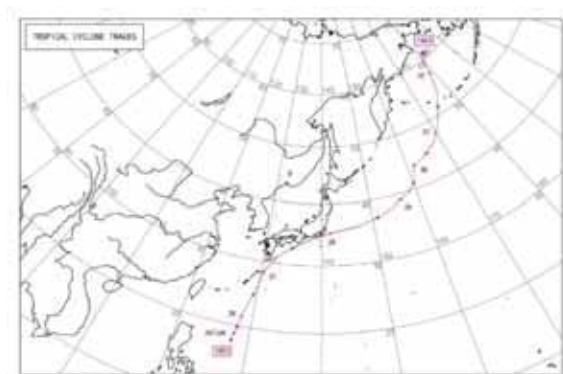
※東海地方に接近した台風とは、その中心が東海地方のいずれかの気象官署及び特別地域気象観測所（富士山を含めた 15 地点）から 300km 以内に入った台風を指します。

台風の発生数・上陸数及び東海地方への接近数

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
2019年	発生数	1	1				1	4	5	6	4	6	1	29
	上陸数							1	2	1	1			5
	東海地方への接近数						1	1	1	1	1			5
平年値	発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6
	上陸数	-	-	-	-	0.0	0.2	0.5	0.9	0.8	0.2	0.0	-	2.7
	東海地方への接近数	-	-	-	-	0.0	0.2	0.5	1.0	1.0	0.5	0.0	-	3.3

※接近は2か月にまたがる場合があります、各月の接近数の合計と年間の接近数とは必ずしも一致しません。

東海地方に接近した台風の経路図



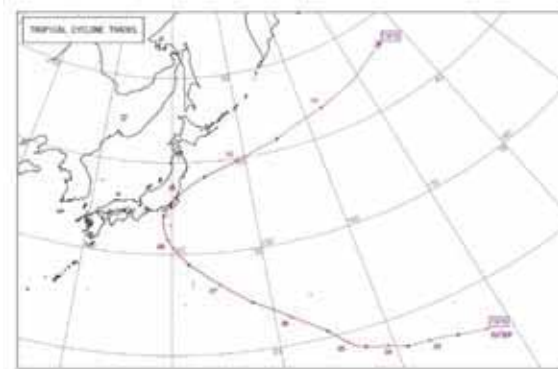
台風第3号（6月24日～7月2日）



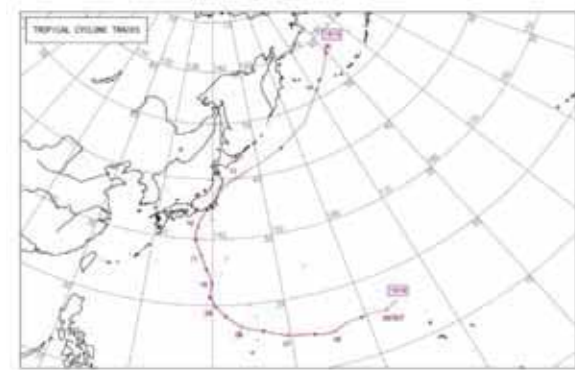
台風第6号（7月24日～29日）



台風第10号（8月5日～17日）



台風第15号（9月2日～11日）



台風第19号（10月5日～15日）

※日付は経路図に記載した期間であり、台風であった期間とは異なります。

2. 2019 年（令和元年）出水時の気象概況

2-1 南岸低気圧による大雨（10 月 24 日～25 日）

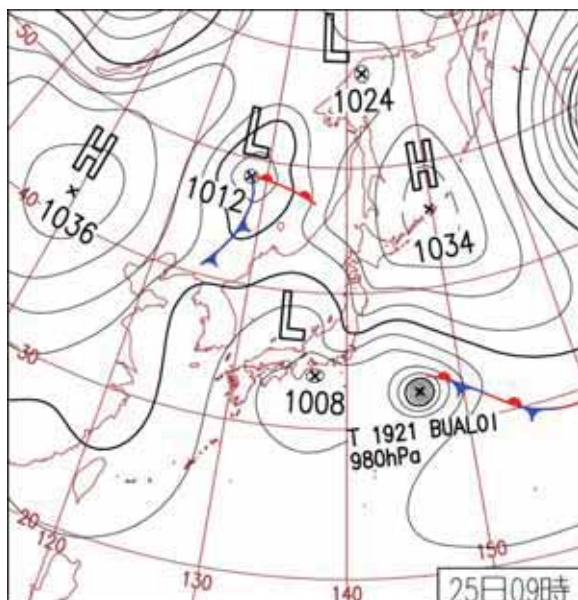
（1）洪水予報の発表状況

河川名	番号	種類	発表日時
庄内川	1	氾濫注意情報	令和元年 10 月 25 日 12 時 25 分
	2	氾濫注意情報解除	令和元年 10 月 25 日 15 時 30 分

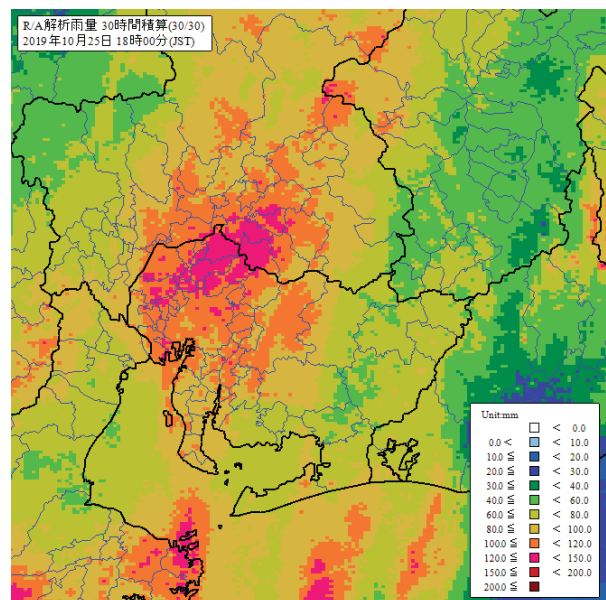
（2）気象概況

10 月 24 日から 25 日にかけて、低気圧が東シナ海から東海道沖をとって関東の東に進みました。低気圧の接近・通過に伴い湿った空気が流れ込んだため、東海地方では大雨となりました。

愛知県や岐阜県では、低気圧が東海道沖を通過した 25 日の昼前から昼過ぎにかけて、上空の寒気の影響もあって大気の状態が非常に不安定となり、激しい雨となった所がありました。25 日 18 時までの 30 時間積算雨量（解析雨量*）は、愛知県西部から岐阜県美濃地方を中心に 100 ミリを超えた所があり、多い所では 130 ミリを超えました。

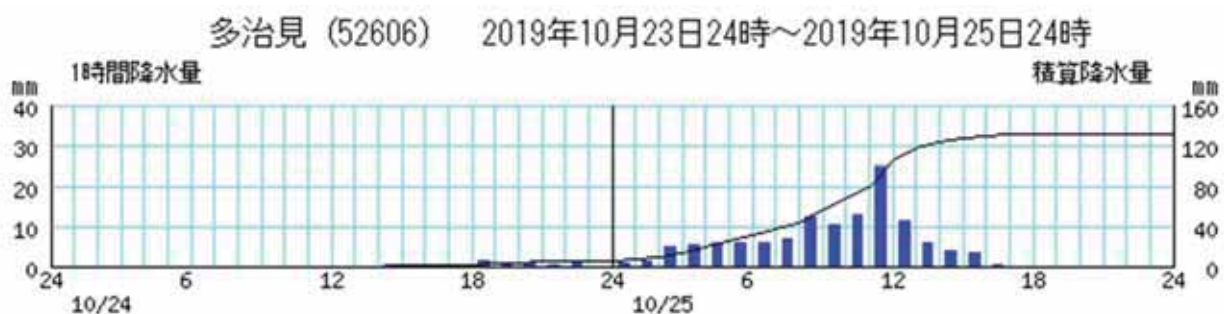


地上天気図（10 月 25 日 09 時）



10 月 25 日 18 時までの 30 時間積算雨量
（解析雨量*）

* 解析雨量：レーダーと雨量計による観測の長所を生かして、1km 四方の細かさで解析した降水量分布



アメダス降水量時系列図

多治見 10 月 23 日 24 時～25 日 24 時

○令和元年度(平成31年度)の防災気象情報の主な改善事項

- **警戒レベルの導入**(平成31年3月)
指定河川洪水予報等への「警戒レベル相当」追記
<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/alertlevel.html>
- **台風進路予報の改善**(令和元年6月)
予報円の大きさを従来より20%縮小
https://www.jma.go.jp/jma/press/1906/12a/20190612_typhoon_yohoen.html
- **「危険度分布」の通知サービスが始まります**(令和元年7月)
「危険度分布」等が示す危険度の変化をメールやスマホアプリで伝えるプッシュ型の通知サービスを開始
https://www.jma.go.jp/jma/press/1907/10c/20190710_pushtsuchi_launch.html
- **3日先までの雨量や、2日先の風速などの予想を具体的な数値で発表**(令和元年11月)
https://www.jma.go.jp/jma/press/1911/29a/20191129_quantitative.html
- **危険度分布にリスク情報を重ね合わせて表示できるように改善**(令和元年12月)
洪水浸水想定区域等のリスク情報を重ね合わせて表示
https://www.jma.go.jp/jma/press/1912/24a/20191224_RMonHM.html
- **天気分布予報及び時系列予報を改善**(令和2年3月)
分布予報の高解像度化及び予報期間の延長、時系列予報の予報期間の延長
https://www.jma.go.jp/jma/press/2003/13f/20200313_bumpu.html

○防災気象情報の改善に向けた検討

- **防災気象情報の伝え方の改善策と推進すべき取組について**
～令和元年度「防災気象情報の伝え方に関する検討会」における検討結果公表(令和2年3月)～ **【別紙参照】**
平成30年度の改善策のフォローアップ及び令和元年東日本等の災害を踏まえたさらなる検討を踏まえた対応
https://www.jma.go.jp/jma/press/2003/31a/20200331_tsutaekata_report2.html
- **「河川・気象情報の改善に関する検証チーム」による検証結果と今後の改善策を取りまとめ**(令和2年3月)
広域で同時多発的な水害における情報発信等に係る課題について検討
https://www.jma.go.jp/jma/press/2003/31b/20200331_KenshoTeam_rep.html

防災気象情報の伝え方の改善策と推進すべき取組【概要】

【別紙】

令和2年3月31日気象庁報道発表資料

- 令和元年東日本台風では、大雨特別警報の解除後も引き続き大河川の洪水に対する警戒が必要であることや、台風上陸前日の「狩野川台風」を引用した記録的な大雨への警戒の呼びかけが十分に伝わっていなかった、との指摘があった。
- 「防災気象情報の伝え方に関する検討会」では、大雨時の避難等の防災行動に役立つための防災気象情報の伝え方について課題を整理し、その解決に向けた改善策をとりまとめた。

<改善策と推進すべき取組>

1. 大雨特別警報解除後の洪水への注意喚起

- 大雨特別警報解除後の洪水への警戒を促すため、警戒への切替に合わせて、最高水位の見込みや最高水位となる時間帯などの今後の洪水の見込みを発表。
- 警戒への切替に先立って、本省庁の合同記者会見等を開催することで、メディア等を通じて住民への適切な注意喚起を図るとともに、SNSや気象情報、ホットライン、JETTによる解説等、あらゆる手段で注意喚起を実施。
- 「引き続き、避難が必要とされる警戒レベル4相当が継続。なお、特別警報は警戒に切り替え…」と伝えるなど、どの警戒レベルに相当する状況かわかりやすく解説。
- 中長期的には、大雨特別警報の解除に関し、防災気象情報全体を俯瞰した観点からの改善策についても検討。

2. 過去事例の引用

- 過去事例の引用は気象台が持つ危機感を伝える手段として一定の効果があることから、顕著な被害が想定されるときには必要に応じて臨機応変運用。
- 特定の地域のみで災害が起こるかのような印象を与えないよう、災害危険度が高まる地域を示す等、地域に応じた詳細かつわかりやすい解説を併せて実施。
- 本庁記者会見等の中で、地域に特化した情報を取得するよう呼びかけるとともに、地元気象台等における地域に応じた詳細な解説を強化。

3. 特別警報の改善

- 大雨特別警報について、警戒レベル5相当の状況に一層適合させるよう、災害発生との結びつきが強い指数を用いて新たな基準値を設定し、精度を改善する取組を推進。
- 大雨特別警報の予告や発表の際、特別警報を待ってから避難するのは命に関わる事態になるという「手遅れ感」が確実に伝わる表現に改善。
- 大雨特別警報のうち、台風等を要因とするものは廃止し、何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い警戒レベル5相当の雨を要因とするものに統一。

4. 「危険度分布」の改善

- 適中率向上を目指し、関係機関と連携して警戒等の対象災害を精査すること等により、「危険度分布」の基準の見直しを実施し、避難勧告の発令基準等への「危険度分布」のさらなる活用を促進。
- 「危険度分布」の通知サービスについて、住民の自主的な避難の判断によりつながらず、市町村の避難勧告の発令単位等に合わせて市町村をいっくつかに細分した通知の提供に向けて検討。
- 台風による大雨など可能な現象については、1日先までの雨量予測を用いた「危険度分布」や「流域雨量指数の予測値」による、より長時間のリードタイムを確保した警戒の呼びかけを検討。
- 「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫(混水型の内水氾濫)」の危険度も把握できるよう、本川流路の周辺にメッシュをかけて危険度を表示するよう改善。

5. その他の改善

- 暴風により起こる被害や取るべき行動をわかりやすく解説。
- 暴風特別警報について、地域毎に発表基準を定めることができないか検討を進める。
- 台風が発達すると予想される熱帯低気圧の段階から、5日間先までの台風進路・強度予報を提供。
- 引き続き予報精度の向上に努めるとともに、気象情報等で、直前の予報や発表情報からの重要な変更が生じた場合には、その旨確実に強調して解説するよう改善。
- 記録的短時間大雨情報を、避難行動が必要な状況下で災害発生の危険度が急激に上昇し、真に深刻な状況になっていることを適切に伝えることができるよう改善。
- 台風時等に高潮警報のみで避難が必要とされる警戒レベル4に相当しているかを判断できるよう改善。
- 気象キャスター等が、水害・土砂災害の情報や河川の特徴等、気象情報だけでなく災害情報についても発信できるよう、河川・砂防部局等と協力し、気象キャスターや報道機関、ネットメディア等との意見交換や勉強会等の実施を通じた連携を各地で推進。

<今後に向けて>

- 気象庁では、河川や砂防等の関係部局との緊密な連携のもと、推進すべき取組に沿って可能なものから取組を推進

洪水・土砂災害に あなたと地域が備える

防災ガイドブック

DISASTER PREVENTION
GUIDEBOOK

身近にひそむ

災害のリスクを知り、

早めの避難手順を

自分自身で考えよう。



1959年

昭和34年
伊勢湾台風



泥海^{どろうみ}のなかに没した母校を目の前に見て

子供たちはただ大声をあげて泣いた。

《養老町池辺小学^{いけのへ}》

伊勢湾台風は岐阜県を直撃し、各地に大きな被害をもたらした。

伊勢湾台風の概要 (岐阜県内)

昭和34年9月26日午後6時20分超大型に発達した台風15号は、いささかの衰えも見せず、瀬戸の西およそ15キロに上陸した。

岐阜県には、すでに不気味な雨風が吹きさび、台風進路の右半側に入った東海地方全域は、最悪の暴風圏にさらされた。

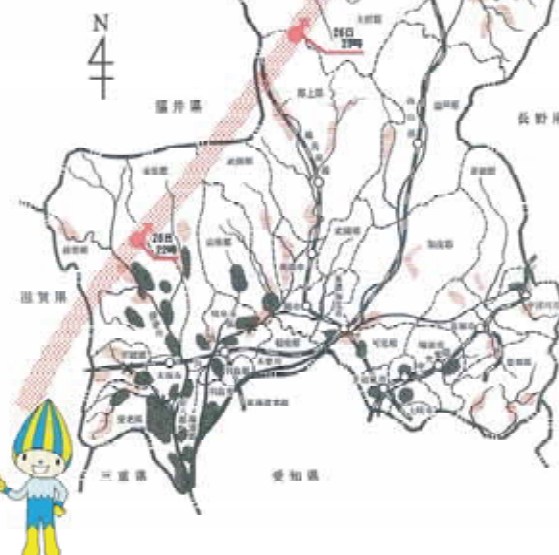
台風が中心が通過する約3時間はうなりを上げた暴風とともに、時間雨量40～70ミリの激しい雨が降り続き、家屋の全・半壊と河川の溢水、氾濫による悲惨な災害が各地に繰出、荒れ狂う台風15号は一夜にして岐阜県全土に猛威の爪あとを残した。

その規模は台風史上最大といわれる室戸台風に匹敵する超A級のものと観測され、「伊勢湾台風」と命名された。明けて27日、県では直ちに災害救助法を発動、ぼうぜん自失する被災者を励まし、全力をあげて災害の復興に立ち上がったが、次々と判明する被害は時間の経過とともに増大し、死者104名、負傷者1,708名、家屋全・半壊、破壊は23万戸、被害総額は500億円にのぼり、県政史上かつてない大災害をもたらした。

当時、大学卒業生の初任給は1万1,297円、
鉄道の初乗車賃は10円でした。
被害総額500億円は、現在の約1兆円に値します。

気象状況	
観測地点	岐阜・岐阜
最低気圧	956.3hPa
平均最大風速	22.5m/s (ESE)
瞬間最大風速	44.2m/s (ESE)
平均湿度	65%

凡 例	
台風進路	台風進路
被害の激しい地域	被害の激しい地域
河川	河川
鉄道	鉄道
国道路線	国道路線



泥海と化した多芸輪中一帯(養老町、南濃町)



東濃地方では、陶磁器工場の大半が甚大な被害を受け、生産は一時全面的にストップしました。



津保川氾濫による被害 平成30年7月豪雨災害(岐阜県関市)



洪水による道路閉鎖 平成30年7月豪雨災害(岐阜県岐阜市)
写真提供:国土交通省中国地方整備局



水浸した街を見つめる住民 平成30年7月豪雨災害(岐阜県岐阜市)
写真提供:岡山県



奥羽川の氾濫 平成27年9月関東・東北豪雨災害(茨城県常陸市)
写真提供:国土交通省関東地方整備局



水浸した街の救助活動 平成30年7月豪雨災害(岡山県倉敷市)
写真提供:岡山県



道路陥没により転落した車 平成30年7月豪雨災害(広島県海田町)
提供:広島県海田町

近年

当たり前にあつた平穏な日常を
一瞬で奪っていく災害。
近年、未曾有の大規模災害が頻発しています。

気候変動（地球温暖化）により、突発的な豪雨の発生、

雨量の増大、台風の巨大化や移動速度の低下などが懸念され、

被害がより大きくなることが恐れられています。



山田地区での土石流災害 平成29年7月九州北部豪雨（福岡県朝倉市山田地区）
写真提供：国土交通省九州地方整備局



山王岡での土石流 平成30年7月豪雨災害（岐阜県高山市）



飯田岡での土石流 平成12年恵那県雨災害（岐阜県恵那市）



土石流災害現場の救助活動 平成25年台風第26号伊豆大島土石流災害（東京都大島町）
写真提供：東京消防庁



土石流災害により1階部分が壊れた家屋 平成30年7月豪雨災害（広島県海田町）
写真提供：広島県海田町

岐阜県は「飛山濃水」と呼ばれ、

飛騨の山々や濃尾の河川から、自然の恵みを受けてきました。

その一方で、「悲山悩水」とも呼ばれ、

山間部では土砂災害に、平野部では洪水に悩まされてきました。

災害から尊い命を守るためには、

一人ひとりが自ら決断し、

避難行動をとることが必要不可欠です。

国民の皆さんへ ～大事な命が失われる前に～

- 自然災害は、決して他人ごとではありません。
「あなた」や「あなたの家族」の命に関わる問題です。
- 気象現象は今後更に激甚化し、いつ、どこで災害が発生してもおかしくありません。
- 行政が一人ひとりの状況に応じた避難情報を出すことは不可能です。
自然の脅威が間近に迫っているとき、行政が一人ひとりを助けに行くことはできません。
- 行政は万能ではありません。
皆さんの命を行政に委ねないでください。
- 避難するかしないか、最後は「あなた」の判断です。
皆さんの命は皆さん自身で守ってください。
- まだ大丈夫だろうと思って亡くなった方がいたかもしれません。
河川の氾濫や土砂災害が発生してからではもう手遅れです。「今、逃げなければ、自分や大事な人の命が失われる」との意識を忘れないでください。
- 命を失わないために、災害に関心を持ってください。
あなたの家は洪水や土砂災害等の危険性は全くないですか？
危険が迫ってきたとき、どのような情報を利用し、どこへ、どうやって逃げますか？
- 「あなた」一人ではありません。
避難の呼びかけ、一人では避難が難しい方の援助など、地域の皆さんで助け合いましょう。
行政も、全力で、皆さんや地域をサポートします。

「平成30年7月豪雨を踏まえた水害・土砂災害からの避難のあり方について」より抜粋
中央防災会議 防災対策実行会議
平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ

自分の命を自分で
守るためには、
早めの避難の手順を
あらかじめ考えて決め、
訓練しておく必要があります。



平成16年7月新潟・福島豪雨災害（新潟県）
写真提供：東京消防庁



平成30年7月豪雨災害（岡山県倉敷市真備地区）
写真提供：岡山県



平成30年7月豪雨災害（岡山県倉敷市真備地区）
写真提供：岡山県

災害から命を守るためには》

STEP 1

身のまわりで起きる災害を知ろう！

- 身のまわりで起きる災害を調べるには？…………… 07
- 私の避難情報マップを作成しよう！…………… 08
- 洪水ハザードマップの見方…………… 09
- 洪水発生！家のまわりはどうなるの？…………… 10
- 土砂災害ハザードマップの見方…………… 11
- 土砂災害発生！家のまわりはどうなるの？…………… 12

STEP 2

早めの避難の手順を考えて決めよう！

- 「災害・避難カード」を作ろう！…………… 13～15
- 実践① 自分や家族を守るのに必要となる安全な場所はどこ？
- 実践② なにを持って避難する？
- 実践③ だれと避難する？
- 実践④ 避難に必要な時間と移動手段は？
- 実践⑤ 安全に避難できるタイミングは？
- 避難開始を判断するのに役立つ情報を知ろう！…… 16

STEP 3

日頃から災害に備えよう！

- 「自分たちの地域は自分たちで守る」
- 各地域における事前の共助の取組み…………… 17
- 命を守るための情報を活用しよう！…………… 18

STEP 1 》身のまわりで起きる災害を知ろう！



身のまわりで起きる災害を調べるには？

自分の家は大丈夫かな？
身の回りでどんな災害が
起こるのか、調べよう！



》自宅のまわりを「ハザードマップ」で確認しよう！

災害から命を守るためには、身のまわりで発生する災害の種類、発生する場所、避難にふさわしい場所などをあらかじめ確認しておくことが大切です。「ハザードマップ」とは、災害が発生したときに想定される被害の範囲や程度、避難場所や避難所などが示された地図のことです。洪水や土砂災害を対象として、県内すべての市町村ごとに作成されています。

》ハザードマップはどこで手に入るの？

● お住いの地域の市町村役場

各市町村のホームページにて公表されています。また、各市町村より各家庭に配布しているほか、お住いの市町村窓口でも手に入れることができますので、まずはお電話で、お尋ねください。



● 国土交通省 ハザードマップポータルサイト

国土交通省 ハザードマップ

検索



全国の各市町村が作成したハザードマップを確認することができます。



● 岐阜県「洪水浸水想定区域図、水害危険情報図」

岐阜 水害危険情報図

検索



河川ごとに洪水のリスクを確認することができます。大河川から中小河川まで、県が管理する全ての河川について確認できます。岐阜県は全国に先がけて中小河川の水害危険情報図を作成し、公表しています。

河川名	河川区分	危険度
長良川	主要河川	大・中・小
木曽川	主要河川	大・中・小
神通川	主要河川	大・中・小
濃尾川	主要河川	大・中・小
木曽川	主要河川	大・中・小
神通川	主要河川	大・中・小
濃尾川	主要河川	大・中・小
木曽川	主要河川	大・中・小
神通川	主要河川	大・中・小
濃尾川	主要河川	大・中・小



● ぎふ山と川の危険箇所マップ

ぎふ山と川 マップ

検索



洪水と土砂災害のハザードマップを同時に確認することができます。お住いの地域の郵便番号を入力して検索すると、自宅周辺を確認することができます。





私の避難情報マップを作成しよう！

準備したハザードマップをもとに、次の手順にしたがって、「私の避難情報マップ」を作成しよう！

その① 自宅が安全かどうか確認しましょう。

- 自宅を「○」で囲みましょう。
- 地図の着色を見て、洪水や土砂災害がどの程度危険か確認しましょう。

その② 自分や家族を守るのに必要となる「安全な場所」を決めましょう。

- 自宅が安全が確保できない場合、地図に着色がなく、水害や土砂災害の危険がない、もしくは危険が少ない施設を選び「○」を記入しましょう。
- 市町村が指定する避難場所以外を選んだ方は、その場所に避難できるかどうかを、災害時ではなく平常時に必ず確認しておきましょう。
例：収容人数、開場のタイミングなど

その③ 一緒に避難する方の自宅を確認しましょう。

- 声を掛ける方や友人、知人、高齢者、体の不自由な方など、一緒に避難する必要がある方の自宅等に「△」を記入しましょう。

その④ 安全な避難経路を確認しましょう。

- 自宅「○」から一緒に避難する必要がある方の自宅等「△」を経由して、避難場所の「○」まで行く道順を「→」で記入しましょう。

- 家族で話し合いながら決めて、災害に備えましょう。
- 声掛けや一時集合場所など、地域で避難の決まりがある場合は反映してください。また、決めたことを地域で確認しあい、見直しましょう。
- 自宅はもちろん、避難経路でも災害が発生した場合は、身動きが取れなくなります。そうなる前に、早めに避難しましょう。



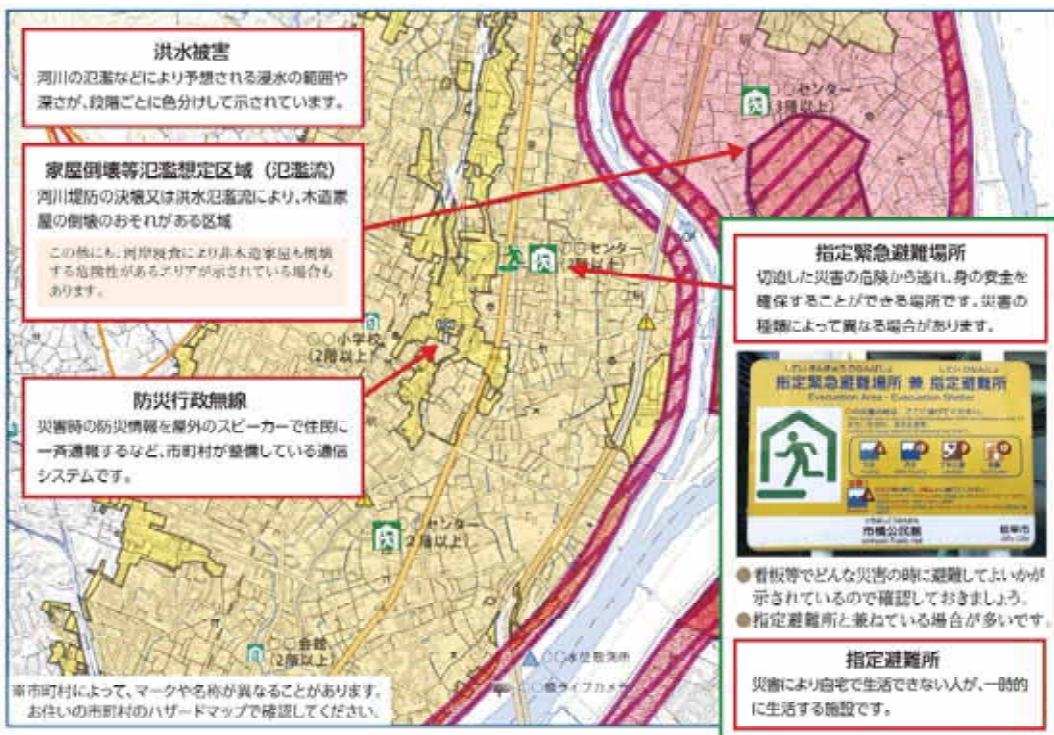
自宅や避難経路などで色が着いた場所が、災害発生時にどんな状況になるのかを見てみましょう。次のページへ

STEP 1 身のまわりで起こる災害を知ろう！



洪水ハザードマップの見方

大雨や台風などで河川があふれることにより発生する洪水に備えるためのハザードマップです。浸水が予想される区域や水深、指定緊急避難場所、指定避難所などが示されています。



凡 例	
	指定避難所
	指定緊急避難場所
	役場
	警察署
	消防署
	病院
	防災行政無線
	防災備蓄倉庫
	早期の立ち退き避難が必要となる区域
	水源地等の倒壊等をもたらす氾濫が発生する恐れのある区域
	土砂災害特別警戒区域
	土砂災害警戒区域
	避難時の危険箇所

想定される浸水深	
5m以上	
3~5m	
0.5~3m	
0~0.5m	

- 色分けによって浸水する深さの目安が分かります。
- 自宅や避難場所は、どのくらい浸水するんだろう？





洪水発生！家のまわりはどうなるの？

あなたは、ここ(浸水深50cm以下)を歩いて避難できますか？ましてや夜だったら・・・？

浸水が始まると、茶色く濁った水があたり一面を覆いつくします。



平成27年9月関東・東北豪雨災害(茨城県東茨城郡市) 写真提供:茨城県

命がけの避難にならないように！

泥水は異常な速さで家を水没させてしまいます。



平成30年7月豪雨災害(岡山県倉敷市真庭地区) 写真提供:岡山県

- Q1 自分の家のまわりは雨が降ってないから大丈夫？
Q2 川の水位が上がってきただけなら避難すればいい？
Q3 濁った水でも浅ければ歩いて避難できる？

それダメ！

- A1 雨が上流で降れば下流では川の水位があがるので、上流の雨の降り方にも注意が必要です。
A2 中小河川の場合、あっという間に水位が上昇して氾濫する場合があります。避難できなくなります。
A3 濁った水の中では道路の状況が分からず、歩くのが困難で危険です。

POINT

- 土砂降りのなか、浸水が始まってしまった道を移動するのは困難です。
- 豪雨時は特に中小河川では異常な速度で水位があがり、気づいた時には河川があふれ危険な状態になります。災害が起こる前に、早めの避難をしましょう！

【平成30年7月豪雨災害で被災した方の気付き】

- 水位の上がり方が異常な速さで、すでに避難経路が河川となり逃げようにも逃げられなかった。
- 気づいた時、すでに玄関から泥水が床上に上る勢いであつたので勝手口から壁まで水につかりながら石垣を登り高台へ避難した。
- 外に出たら家の前は30cmぐらいの水が来ていた。道路に出たら水の流が速く、渡るのが危うく思った。
- もっと早く避難する必要があるという事に気付いた。

引用:平成30年7月豪雨災害に係る住民避難行動の要因分析(岐阜県、岐阜大学)

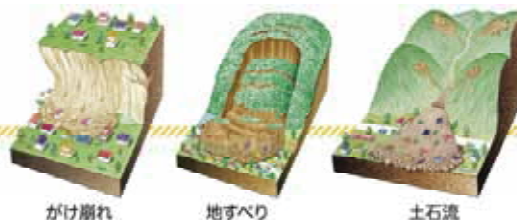


STEP.1 身のまわりで起こる災害を知ろう！



土砂災害ハザードマップの見方

大雨や台風などともなう土砂災害に備えるハザードマップです。がけ崩れ、地すべり、土石流といった土砂災害の警戒区域、指定緊急避難場所や指定避難所などが示されています。



土砂災害特別警戒区域
通称:レッドゾーン
(建築物損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域)

家屋が倒壊する被害が発生し、住民の生命がおびやかされます。

土砂災害警戒区域
通称:イエローゾーン
(土砂災害のおそれがある区域)

倒壊まではいかないものの、家屋が損壊する可能性があります。

イエローゾーンだから大丈夫だとか言わないでね。土砂災害にまきこまれると命を失うよ。



※市町村によって、マークや名称が異なることがあります。お住いの市町村のハザードマップを確認してください。



土砂災害発生！家のまわりはどうなるの？

避難を完了していないと命にかかります。



平成30年7月豪雨災害（広島県海田町）写真提供：広島県海田町

あなたはこのなかを安全に避難できますか？



命がけの
避難に
ならない
ように！

平成24年9月台風災害（岐阜県揖斐川町）

Q1 屋内にいれば土砂災害から身を守る？

Q2 土砂災害の前ぶれさえ知っていれば、すぐ逃げられる？

Q3 自分の家はイエローゾーンだから避難しなくても大丈夫？

Q4 警戒区域に入っていない場所は大丈夫と言える？

それダメ！

A1 土砂災害で被災された方のうち、屋内で被災された方の割合は約90％にのぼります。屋内に留まらず安全な場所に避難して下さい。

A2 土砂災害はあっ！という間に発生します。発生してからでは手遅れになる可能性があります。

A3 イエローゾーンは災害による土砂が届く範囲です。車も使えなくなり家が孤立します。

A4 警戒区域は、過去の災害実情をもとに、一定の要因を満たす区域を指定するものです。指定されていない場所でも土砂災害の危険性が全くないわけではありません。

POINT

● 豪雨のなか、土砂があふれた道を移動するのは難しく、新たな土砂災害に巻き込まれる危険性もあります。

● 逃げ遅れた場合は命にかかります。

災害が起きる前に早めの避難をしましょう。

【平成30年7月豪雨災害で被災した方の気付き】

- 土砂降りの雨が降り、谷という谷から土砂が流れ出し、道路をふさいでしまったため、車は避難に使えなかった。
- 土砂が流れ出し、あっという間にまわりの状況が変わってしまった。
- 土砂災害では家にも危険。避難するタイミングをうかがってはダメ。

（引用：平成30年7月豪雨災害に係る住民避難行動の要因分析（岐阜県、岐阜大学）



STEP.2 早めの避難の手順を考えて決めよう！



「災害・避難カード」を作ろう！

災害時に、「自分の命は自分で守る」ためには、一人ひとりが、あらかじめ早めの避難手順を考えることが重要です。

「災害・避難カード」とは、どんな情報をもとに、どの経路で、どこに避難するのか等、災害から命を守る手順を一目でわかるように整理したカードです。

作成したカードは自宅の冷蔵庫や玄関に掲示するなど、普段から目にとまるようにします。次の手順にしたがって、カードを作成しましょう！

実践① 自分や家族を守るのに必要となる安全な場所はどこ？

その① 自宅が安全かどうか確認しましょう。

その② ハザードマップで確認した、安全な避難場所（8ページ）の名前を記入してください。また、レッドゾーンやイエローゾーン、洪水浸水想定区域に入っていないか確認しましょう。

安全な場所は？

<確認してみましょう！>

■ レッドゾーンの外 ☐

■ イエローゾーンの外 ☐

■ 洪水浸水想定区域の外 ☐

実践② なにを持って避難する？

あなたが避難するときに持っていくものを確認しましょう。

通信・連絡機器	お持ち物
☐ 携帯電話	☐ 非常用品の中にお手持ちの携帯電話の充電器を入れておきましょう。非常時の連絡の際に役立ちます。
☐ 充電器（充電がでるもの）	
非常食品	生活用品
☐ 飲料水	☐ 携帯ラジオ
☐ チョコ・エネルギーゼリー	☐ マッチ・ライター
☐ アルファ米	☐ ろうそく（ツナ缶）
☐ ミルク・母乳びん（乳児用）	☐ 雨具
☐ 携帯用バランス栄養食・機能性食品	☐ ウェットティッシュ
※セキボシ、ミキサーなどの米量が増える食品	☐ レジャーシート
命を守るもの	☐ 高密度のポリ袋
☐ ヘルメット・防災ずきん	☐ 新聞紙
☐ 懐電	☐ 筆記用具（油性ペン）
☐ 防護マスク	☐ 使い捨てカイロ
☐ タオル	☐ 生理用品
☐ 懐中電灯、予備電池	☐ 紙オムツ
☐ ホイッスル	☐ 救急箱
☐ 小型ナイフ	☐ 携帯・簡易トイレ

※ 非常用品を確認したら、非常用品は必ず必要に応じて持ち出し、いつでも安全な場所へ避難してください。

上記以外で、あなた特有の持ち物を記入してください。

持ち物の大きさや重さを確認しましょう！

☐ リュックに入れて持ち運べる大きさですか？

☐ 避難場所まで歩ける重さですか？



実践③

だれと避難する？

声掛けをして、一緒に避難する方のお名前と連絡先を記入しましょう。

だれと？	連絡先は？

- 声掛けをして一緒に避難するといった地域でのきまりはありますか？
- 家族、親戚、友人、ご近所、ヘルパーさんなど地域での声かけや連絡網をまわすなど積極的にしましょう。



岐阜県が平成30年度に実施した住民の避難行動を分析するためのアンケート調査では、「防災訓練等で近所同士で避難に関する呼びかけの取り組みを行っている」場合、避難率が高い傾向にあることが分かっています。

【平成30年7月豪雨災害に係る住民避難行動の要因分析（岐阜県、岐阜大学）より】

実践④

避難に必要な時間と移動手段は？

避難のための身支度をし、安全な避難場所にたどり着くまでの時間を計算しましょう。

A 安全な場所まで片道何分（通常時）？

徒歩なら ⇒ 分 / 車なら ⇒ 分

荷物を持っていることを考えて決めましょう。豪雨時はさらに時間がかかります。

B 安全な場所まで片道何分（豪雨時）？

徒歩なら ⇒ 分 / 車なら ⇒ 使用不可

+

C 避難を決断してから家を出るまでに何分？

家族への声かけや説明、身支度などの時間も含まれます。

分

+

D 要支援者を支援するのに何分？

一緒に避難する方の自宅に立ち寄り、支援するのにかかる時間です。

分



E 避難を決断してから安全な場所まで何分？

徒歩なら ⇒ 分 / 車なら ⇒ 分 / 豪雨時なら ⇒ 分
 (A+C+D) (A+C+D) (B+C+D)



あなたは避難に時間がかかるほうですか？
 なるべく時間がかからないよう、普段から持っていく物などを準備しておくことも大切です。

車で避難する場合は、特に豪雨で洪水や土砂災害が発生する前に早めに避難先に到着する必要があります。

STEP.2

早めの避難の手順を考えて決めよう！

実践⑤

安全に避難できるタイミングは？

「いつ、何を？」の欄に、以下のタイミングやその他必要な行動内容を書きましょう。

①災害が迫っていることを認識する。②情報をこまめに確認して避難の準備をする。③避難を開始する。④避難を完了する。

私の避難タイミング					
気象情報	大雨に関する気象情報 早期注意情報	注意報	警報	大雨特別警報	
気象情報					
記録的短時間大雨情報					
土砂災害警戒情報					
水位情報					
避難情報					
レベル3(避難に時間がかかる人は避難)					
避難準備・高齢者等避難開始					
レベル4(全員避難)					
避難勧告					
避難指示(緊急)					
レベル5					
災害発生情報					
いつ、何を？					
可能性が日中					
可能性が夜間					



災害時は、必ずしも同じ状況になるとは限りません。その時の状況に合わせてしっかり考え、命を守る避難行動をとりましょう。

いつ、何を？
 (記入例)

日中
 避難可能性が
 高い可能性が

災害が迫っていることを認識する。
 災害が迫っていることを認識する。
 情報をこまめに確認し避難の準備をする。

テレビのしず放送、エリアメールをこまめに確認
 避難準備・高齢者等避難開始
 情報をこまめに確認し避難の準備をする。
 OOさんに
 要にさせて避難
 避難を開始する。

OOさんに声掛けし
 公民館に集合した後そこから避難
 避難を開始する。

いつまでに避難を完了するか
 決めてから考えよう。

避難情報発令の可能性が夜間の場合は、暗くなる前に行動しましょう。





避難開始を判断するのに役立つ情報を知ろう！

避難情報

警戒レベル	避難行動等	防災気象情報 (気象庁発表・気象庁・気象庁ホームページ参照)
警戒レベル 5	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。 災害発生情報 ※1 (市町村が発信) ※1 災害が発生していることと判断した後に、可能な範囲で発表	警戒レベル5相当情報 ●災害発生情報 ●大雨特別警報 ●最大な災害が発生するおそれ が著しく大きいときに発表 等
警戒レベル 4 全員避難	速やかに避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる 場合は、近くの安全な場所や、自宅内より 安全な場所に避難しましょう。 避難勧告 避難指示(緊急) ※2 (市町村が発信) ※2 地域住民の命に危険が及ぶと判断した後に、可能な範囲で発表	警戒レベル4相当情報 ●土砂災害警戒情報 ●土砂災害警戒情報 ●大雨警報(土砂災害)が発信 されている間に、大雨による 土砂災害発生のおそれが高まったときに発表 等
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難に時間を要する人(高齢者の方、障害のある方、 乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。 避難準備・高齢者等避難開始 (市町村が発信)	警戒レベル3相当情報 ●土砂災害警戒情報 ●洪水警報 ●最大な災害が発生するおそれ があるときに発表 等
警戒レベル 2	避難に備え、ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認しましょう。 洪水注意報・大雨注意報等 (気象庁が発信)	警戒レベル2相当情報 ●注意報 ●災害が発生するおそれがある ときに発表 等
警戒レベル 1	災害への心構えを高めましょう。 早期注意情報 (気象庁が発信)	警戒レベル1相当情報 ●早期注意情報 ●警戒レベル1が発信されたときに発表 等

※各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。
※警戒レベル1, 2は気象庁から、警戒レベル3～5は市町村から発表されます。

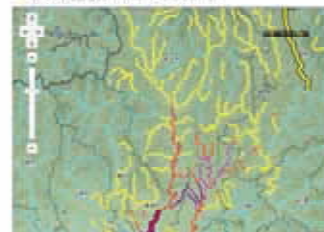
河川の水位情報



※川幅や雨の降り方によっては、水位が一気に上昇しておられることもあります。

洪水発生危険の高まり

洪水警報の危険度分布

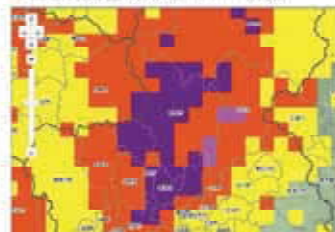


洪水発生危険の高まりを色分けで示します。
「極めて危険」(濃い紫)が出現すると、河川の氾濫
による洪水がすでに発生していてもおかしく
ない状況となるため、それより前の段階で、避難
を完了しましょう。



土砂災害発生危険の高まり

土砂災害警戒判定メッシュ情報



土砂災害発生危険の高まりを色分けで示します。
「極めて危険」(濃い紫)が出現すると、土砂災害が
すでに発生していてもおかしくない状況となる
ため、それより前の段階で避難を完了しましょう。



※このほか、浸水被害発生危険の高まりを示す情報もあるので、あわせて確認しましょう。

STEP.3 日頃から災害に備えよう！



「自分たちの地域は自分たちで守る」各地域における事前の共助の取り組み

「災害・避難カード」の作成を地域住民が一緒になって取り組むことにより、一人では避難ができない等の問題を
みんなの力で解決することができます。ここでは地域で災害に備える取り組みのほんの一例を紹介します。

一人ひとりが安全な避難を考える勉強会(間市)

平成30年7月豪雨災害で被災した3地区53自治会の住民を対象に避難
意識を高めるため、全4回のワークショップを経て、地域ぐるみで災害・
避難カードを作成する取り組みを実施。



防災運動会(北方町)

地域の防災訓練と運動会を組み合わせた、子どもから大人まで参加
できる体験型の訓練。
防災グッズの借り物競争や担架リレーなど、楽しみながら防災を学ぶ。



逃げ時マップ(恵那市)

各段階の気象情報ごとに、可能となる避難の手段を明らかにし、一人
ひとりが「逃げ時」を決める。
要支援者の居場所や、その支援者となる人を共有することで、地域全体
で見守る体制をつくる。



レット(瑞浪市)

レット(LET)とは、Learn (the) Evacuation Timing (避難のタイ
ミングを学ぶ)の略。
災害图上訓練で決めた避難場所や避難経路を通り、避難場所まで
安全に避難できるタイミングを考えて決める。



事前の共助の取り組みを始めるには (災害・避難カード作成の展開)

自治会役員や防災士など、地域の防災リーダーを中心に
「自分たちの地域を自分たちで守る」ための備えや訓練を
行いましょう。
なお、災害・避難カードを作成する取り組みの指導者養成
を岐阜県が清流の国ぎふ 防災・減災センターと共同で
実施していますので、地元自治体の防災担当部局に指導者
の派遣を依頼することも一案です。

清流の国ぎふ 防災・減災センター

岐阜県と岐阜大学が共同で設置した当センターでは、
様々な防災活動、人材育成プログラムの主催や講師の
派遣を通じて、地域防災力の強化を推進しています。

センターで開催する 地域の防災リーダーを育成する講座等

- 災害・避難カード指導者養成講座
地域の防災士や自治会役員等を対象に災害・避難
カードを作成する取り組みの指導者を養成。
 - 清流の国ぎふ防災リーダー育成講座
座学やグループワークなど計4日間の講座で、地域
で活躍する防災リーダーの育成を行います。
 - 災害图上訓練指導者養成講座(DIG)
地域の災害リスクや適切に避難する方法を考
える図上訓練を地域で実践できる指導者を養成します。
 - 避難所運営指導者養成講座(HUG)
避難所開設・運営の指導者を養成します。
- その他、様々な防災講座を実施しています。

清流 防災 検索

TEL:058-122-890 (9:00～17:00)



命を守るための情報を活用しよう！

総合情報

「岐阜県総合防災ポータルサイト」

避難情報・気象情報など、あらゆる情報が集約されています。

岐阜県 防災ポータル

検索



気象情報

「岐阜地方気象台ホームページ」

注意報や警報、洪水や土砂災害の発見情報を知らることができます。

岐阜県 気象台

検索



水位情報

「岐阜県川の防災情報」

河川の水位情報を知ることができます。

岐阜県 川の防災

検索



土砂災害情報

「ぎふ土砂災害警戒情報ポータル」

土砂災害の危険の発見情報を知らることができます。

岐阜県 土砂ポータル

検索



防災情報のプッシュ通知サービス

「Yahoo 防災情報」

現在地や登録した場所の地震、豪雨、津波などの情報をプッシュ通知。

Yahoo防災

検索



川と道の情報のメール配信サービス

「ぎふ川と道のアラームメール」

大雨、洪水、道路規制、水位情報をメール通知。

岐阜県 アラーム

検索



一人ひとりの防災力を高めるため、

災害に対する準備ができているかチェックしてみよう！

「やってみよう減災力テスト！」

減災力テスト 風水害・土砂災害から命を守る情報収集や判断

- ☐ 自宅や勤務地(または学校)周辺における風水害や土砂災害の危険箇所をハザードマップで確かめていますか？
- ☐ 自宅や勤務地(または学校)周辺における風水害や土砂災害の危険箇所を自分の目で確かめていますか？
- ☐ 水平避難・垂直避難・待避を理解した上で、風水害や土砂災害が発生しそうな時の一時的な避難場所と避難方法を決めていますか？
- ☐ 行政の避難情報にかかわらず、自分や家族で避難を判断するために、降雨状況や河川水位などの情報を自ら見えていますか？
- ☐ 道路が浸水しており、一時的な避難場所へ移動する方が危険な場合、自宅などで過ごす準備ができていますか？
- ☐ 風水害や土砂災害の対策について、家族で話し合っていますか？

さらにくわしくチェックしたい方は「減災教室」

災害時に不可欠となる「自助」「共助」について、一人ひとりの課題を理解し、解決していくことができるアプリとWebサイトです。



<http://gensaikyoushitsu.sakura.ne.jp/>



高木 朗義 先生

●岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授
●岐阜大学地域防災研究センター 副センター長
●清流の国ふるさと防災センター



洪水・土砂災害に あなたと地域が備える

防災ガイドブック

DISASTER PREVENTION
GUIDEBOOK

アドバイザー

高木 朗義 岐阜大学 工学部 社会基盤工学科 教授

清流の国ふるさと防災・減災センター

村岡 治道 岐阜大学 地域防災研究センター 特任准教授

清流の国ふるさと防災・減災センター

〈お問い合わせ先〉

岐阜県庁 危機管理部 防災課 TEL.058-272-1111(代)



GIFU

令和2年度春日井市水防訓練の実施内容一覧表

内部資料

災害対策本部における各部班		責任課等	実施予定日	実施予定課	参加予定人数	内容（抜粋）
本部事務局部	本部班	市民安全課	5月下旬	市民安全課	13	（机上）災害対策本部の設置運営及び各種端末の操作方法等の確認訓練
	総務班	総務課	5月下旬	総務課	7	（机上）TRANSMOD（防災システム）の操作確認
本部長付		秘書課	5月下旬	秘書課	2	（机上）市長・副市長との連絡手段の確認
動員部		人事課	5月下旬	人事課	7	（机上）すぐメール及び防災システムの使用方法等の確認
情報管理部	広報伝達班	広報広聴課	5月下旬	広報広聴課 企画政策課 監査課 議事課	4 2 2 2	<情報システム課> （机上）緊急情報ツイッター等の操作方法の確認等 <企画政策課> （机上）区・町内会・自治会長への連絡方法の確認 <監査課> （机上）広報車による災害広報の手順の確認 <議事課> （机上）開設避難所への定期的な電話連絡等の連絡体制の確認
	収集整理班	情報システム課	5月下旬	情報システム課	6	（実地）5月14日～23日の「災害土のう事前配布」の実施をもって、防災システム操作習熟の訓練とする。
市民窓口部		市民税課	5月下旬	市民税課 財政課 管財契約課 資産税課 収納課	10～15	（机上）市民からの災害通報等に対するシミュレーションを行う。
技術部		河川排水課	5月下旬	建設部 全4課 上下水道部全4課 まちづくり推進部 全5課	建設部 16 上下水道部 3 まちづくり推進部 10	（実地及び机上）重要水防箇所や浸水箇所の効率的な巡視ルートの確立及び現地確認
消防公安部		消防救急課	5月下旬	<計画書1> 消防署 東出張所 西出張所 南出張所 北出張所 高蔵寺出張所 <計画書2> 消防総務課 消防救急課 予防課 通信指令室 <計画書3> 北出張所 下水建設課 <計画書4> 消防総務課 春日井市消防団	<計画書1> 消防署及び各出張所の全職員（交代勤務の中で実施） <計画書2> 16 <計画書3> 各日5 <計画書4> 職員2 消防団員9	<計画書1> （机上）事前準備資器材の準備及び水防危険箇所の巡視ルート等の確認 <計画書2> （机上）作戦本部レイアウトの作成及びトランスモッドへの入力操作の習熟等 <計画書3> （机上）新木津用水路の高山制水門及び兵田堰の操作方法習熟等 <計画書4> 各団員への招集連絡体制の確認等

令和2年度春日井市水防訓練の実施内容一覧表

災害対策本部における各部班		責任課等	実施予定日	実施予定課	参加予定人数	内容（抜粋）
避難部		教育総務課	5月下旬	<指定避難所> 教育総務課 学校教育課 学校給食課 <福祉避難所> 文化・生涯学習課	<指定避難所> 5 <福祉避難所> 18	<指定避難所、福祉避難所> （机上）第1段階における開設前、開設後、第2、3段階における避難所運営について、新型コロナウイルス感染対策を考慮した手順確認訓練を実施する。福祉避難所の各市施設においては施設ごとに避難スペースの確認を行う。
救護福祉部	救護班	健康増進課	5月下旬	健康増進課 子ども政策課 保険医療年金課 保育課	8	（机上）避難所に持参する物品の保管場所及び過不足の確認、避難所での行動手順の確認
	要配慮者班	地域福祉課	5月下旬	地域福祉課 介護・高齢福祉課 障がい福祉課 生活支援課	5	（机上）防災システムの保管場所等確認及び避難指示の架電システムの利用方法の確認
物資供給部		経済振興課	5月下旬	経済振興課 企業活動支援課 農政課	2 2 2	（机上）防災システムの操作方法の習熟及び新型コロナ感染症対策をに留意したマスクや消毒液の優先的な納入をドラッグストア等に促す想定訓練の実施
衛生部		ごみ減量推進課	5月下旬	ごみ減量推進課 環境政策課 環境保全課 （市民課）	31	（机上）4月に実施した防護服着脱訓練を再度、机上で実施する。
ボランティア部		市民活動推進課	5月下旬	市民活動推進課	5	（机上）県広域ボランティア支援本部との連携等について書面にて確認を行う
会計部		会計課	5月下旬	会計課	4	（机上）義援金受付窓口の開設等活動内容の確認